

令和6年度

業 務 概 要

公益財団法人 山形県生涯学習文化財団

目 次

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

1 概 要	1
2 令和6年度基本方針	6
3 令和6年度事業体系図	7
4 令和6年度収支予算	9
5 令和5年度決算	15

II 総務・管理部門（山形県生涯学習センター及び同分館「洗心庵」）

1 概 要	29
2 令和6年度事業計画	30
3 令和5年度事業実績	32
4 各部門における施設の利用状況	36
5 生涯学習センター等建設経緯及び施設の概要	39

III 生涯学習部門（山形県生涯学習センター）

1 概 要	43
2 令和6年度事業計画	44
3 令和5年度事業実績	47

IV 文化振興部門（山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館）

1 概 要	53
2 令和6年度事業計画	55
3 令和5年度事業実績	57
4 郷土館建設経緯及び施設の概要	63

V 男女共同参画部門（山形県男女共同参画センター「チェリア」）

1 概 要	67
2 令和6年度事業計画	68
3 令和5年度事業実績	71

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023)625-6411

F A X (023)625-6415

1 概 要

(1) 目 的

県民の自発的な生涯学習及び文化活動並びに男女共同参画社会の形成促進を総合的に支援し、これらの活動を基盤とした生涯設計、社会生活の創造、地域文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化を担う人材の育成に資することを目的とする。

(2) 事 業

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 生涯学習及び文化の振興並びに男女共同参画社会の形成に係る調査、研究、支援及び啓発等に関する事業
- ② 先導的な生涯学習の講座及び研修会の開催並びに文化鑑賞の機会の充実に係る事業
- ③ 地域、企業等の生涯学習及び文化活動の指導者の育成、交流等に関する事業
- ④ 男女共同参画社会づくりを目的とした団体・グループの支援・交流・相談への対応、情報収集・提供等に関する事業
- ⑤ 地域の活性化を担う人材の育成に関する事業
- ⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(3) 役 員

- ・ 理 事 長 1 名
- ・ 専 務 理 事 1 名
- ・ 常 務 理 事 1 名
- ・ 評 議 員 15 名
- ・ 理 事 8 名 （理事長・専務理事・常務理事を含む）
- ・ 監 事 2 名

(4) 特 定 資 産（生涯学習文化事業資産）

2,752,324,197 円 （平成6年4月1日現在）

公益財団法人山形県生涯学習文化財団評議員・理事・監事名簿（五十音順）

令和6年6月26日現在

<評議員> 15名（定数10名～15名）

役員名称	氏 名	役 職 名
評 議 員	石 沢 恵 理	東北芸術工科大学講師
評 議 員	太 田 宏 明	山形県商工会連合会専務理事
評 議 員	小 関 博	山形県教育委員会委員
評 議 員	後 藤 雅 喜	山形県農業協同組合中央会常務理事
評 議 員	齋 藤 直 樹	山形県市長会事務局長
評 議 員	齋 藤 祐 一	山形県博物館連絡協議会会長
評 議 員	鈴 木 義 孝	山形県芸術文化協会会長
評 議 員	武 田 靖 裕	山形県PTA連合会会長
評 議 員	玉 手 英 利	山形大学学長
評 議 員	中 村 雪 子	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長
評 議 員	藤 間 乾	公益社団法人日本舞踊協会山形県支部長
評 議 員	村 山 恵美子	桜桃の会代表
評 議 員	矢 野 秀 弥	山形県商工会議所連合会会長
評 議 員	吉 田 直 史	山形県高等学校長会会長
評 議 員	渡 邊 洋 一	山形県私立短期大学協会会長

（任期：令和6年度定時評議員会の終結の時～令和10年度定時評議員会の終結の時）

<理事> 8名（定数7名～10名）

役員名称	氏 名	役 職 名
理 事 長	若 松 正 俊	公益財団法人山形県生涯学習文化財団理事長
専務理事	杉 澤 栄 一	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事
常務理事	遠 藤 隆 弘	公益財団法人山形県生涯学習文化財団常務理事
理 事	九 里 廣 志	公益社団法人山形県私立学校総連合会会長
理 事	寒河江 浩 二	株式会社山形新聞社代表取締役会長
理 事	鈴 木 隆 一	山形経済同友会代表幹事
理 事	高 木 直	山形大学名誉教授
理 事	東 山 昭 子	鶴岡総合研究所研究顧問

（任期：令和6年度定時評議員会の終結の時～令和8年度定時評議員会の終結の時）

<監事> 2名（定数2名）

役員名称	氏 名	役 職 名
監 事	柴 田 健 一	公認会計士・税理士
監 事	菅 原 靖 男	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事

（任期：令和6年度定時評議員会の終結の時～令和8年度定時評議員会の終結の時）

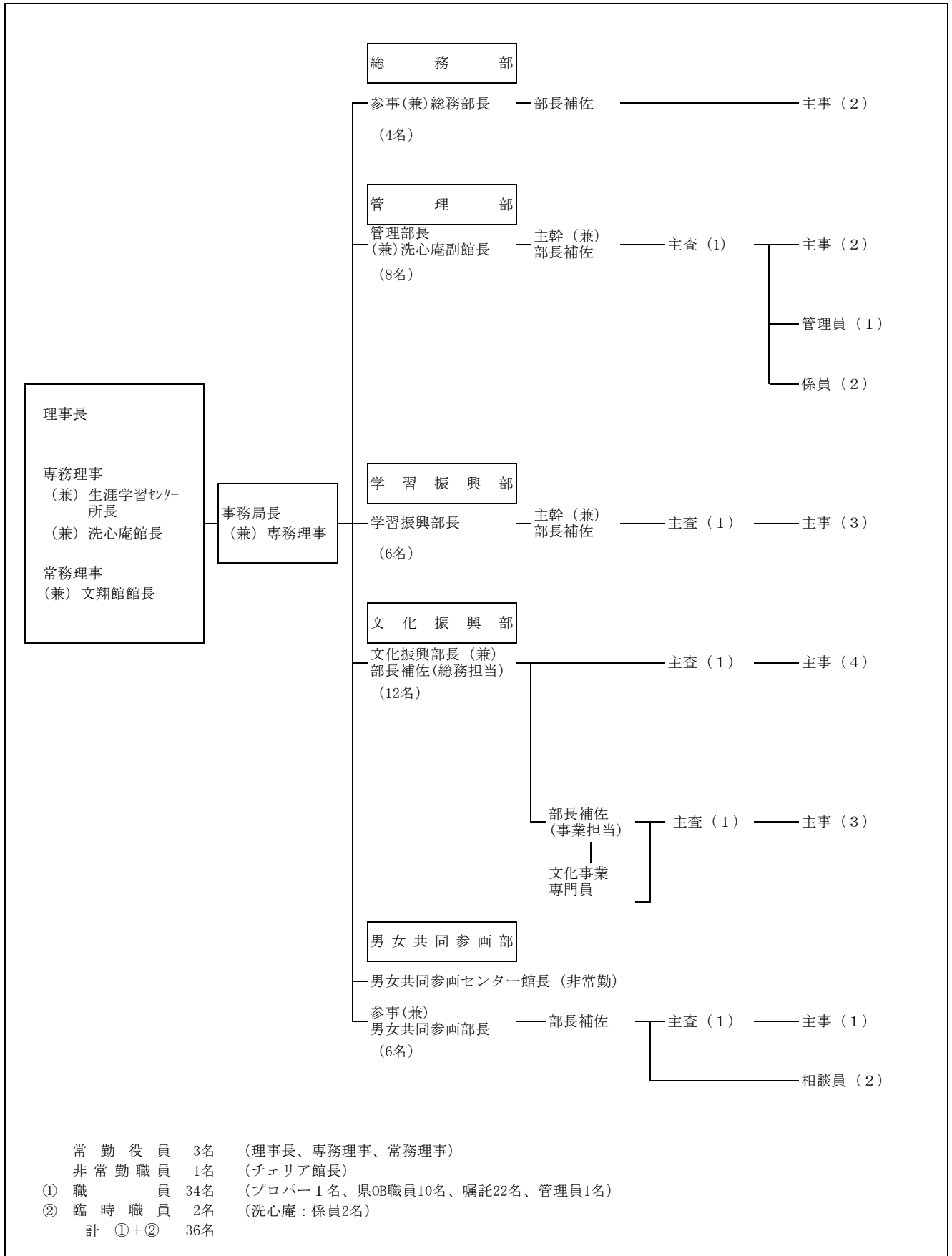
沿 革

生涯学習センター（遊学館）		文翔館（県郷土館）、総合文化芸術館		男女共同参画センター（チェリア）	
		T5. 6 S51. 6	旧県庁舎及び県会議事堂竣工 県庁跡地利用懇談会で山形県歴史資料館（仮称）の設置を決定		
S56. 7. 30	山形県生涯教育懇話会提言 （山形県における生涯教育の進め方について）			S55. 1	知事の諮問機関の県婦人問題推進懇話会が提言（婦人情報センター等の設置）
S57. 12. 20	山形県生涯教育基本構想答申				
S58. 12. 12	県生涯教育センター基本構想策定委員会設置	S59. 12	旧県庁舎及び県会議事堂が国の重要文化財に指定される		
S60. 5. 29	山形県生涯教育センター基本構想（答申）				
S60. 7	生涯教育センター建設計画検討委員会設置（会長：副知事）				
S61. 1	生涯教育センター建設計画検討委員会（報告）				
S61. 5	生涯教育センター・県立図書館建設委員会設置	S61. 7	旧県会議事堂半解体調査開始		
S62. 3	建設委員会（基本設計の最終検討）			S62. 1	同懇話会が婦人問題総合研究所（仮称）構想を提言
S62. 3. 25	基本設計の完成				
S62. 9. 30	基本設計の完了				
S62. 12. 7	実施設計完了 生涯教育センター（仮称）の請負契約（建設） 建設施設整備総事業費約 62 億円				
S63. 1. 30	生涯教育センター（仮称）起工式	S63. 2	旧県庁舎半解体調査開始	S63. 3	新やまがた女性プランの基本施策に掲げられる
H 元. 5. 18	上棟式				
H2. 2. 1	生涯教育センター（仮称）完成引渡				
H2. 2. 21	財団法人山形県生涯学習人材育成機構が設立				
H2. 7. 27	生涯学習センター（仮称）竣工式典 山形県生涯学習センター設置条例を施行し業務開始				
H2. 7. 28	財団法人山形県生涯学習人材育成機構が管理を受託				
H2. 8	学遊大学講座等主催講座開始	H2. 9	旧県会議事堂の修理工事完成		
H4. 12. 19	遊学館の入館者 100 万人	H5. 9	山形県郷土館（仮称）展示基本設計		
		H6. 2	山形県郷土館（仮称）展示実施設計		
		H6. 6	山形県郷土館展示委員会の設置		
H7.	放送大学山形学習センター2 階研修室の一部を使用（～H12 年）	H7. 7	山形県郷土館条例公布	H7. 3	「新やまがた女性プラン（第一次改定）」に「女性総合センター（仮称）の整備促進」が基本施策に掲げられる
		H7. 9	山形県郷土館の愛称を「文翔館」に決定。旧県庁舎及び県会議事堂修理工事、展示工事完成		
		H7. 10	山形県郷土館「文翔館」開館（財）山形県生涯学習人材育成機構が管理を受託	H7. 3	山形県女性総合センター（仮称）構想検討委員会が整備に向けた基本方向、機能、管理運営等を報告
H7. 11. 1	遊学館の来館者 200 万人				
H11. 1	遊学館の来館者 300 万人			H11. 2	女性団体代表者等で構成する「女性交流プラザ（仮称）基本計画策定懇談会」が基本計画をまとめる
H12. 4. 1	財団法人山形県生涯学習文化財団に改称	H12. 4. 1	財団法人山形県生涯学習文化財団に改称		
H13. 9. 29	遊学館の来館者 400 万人	H13. 12	文翔館の来館者 100 万人	H13. 4. 1	山形県男女共同参画センター条例を施行し業務開始。財団法人山形県生涯学習文化財団が管理を受託

生涯学習センター（遊学館）		文翔館（県郷土館）、総合文化芸術館	男女共同参画センター（チェリア）
H16. 4. 1	（財）山形県長寿社会推進機構の学習分野を承継		
H16. 12. 22	遊学館の来館者 500 万人		
H18. 4. 1	指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（1 期目、H18～H20 年度）	H18. 4. 1 指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（1 期目、H18～H20 年度）	H18. 4. 1 指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（1 期目、H18～H20 年度）
		H20. 12 文翔館の来館者 200 万人	
H21. 4. 1	2 期目の指定管理者の指定を受ける（H21～H23 年度）	H21. 4. 1 2 期目の指定管理者の指定を受ける（H21～H23 年度）	H21. 4. 1 2 期目の指定管理者の指定を受ける（H21～H23 年度）
H21. 12. 20	遊学館の来館者 600 万人		
H24. 4. 1	公益財団法人に移行 3 期目の指定管理者の指定を受ける（H24～26 年度）	H24. 4. 1 公益財団法人に移行 3 期目の指定管理者の指定を受ける（H24～H28 年度）	H24. 4. 1 公益財団法人に移行 3 期目の指定管理者の指定を受ける（H24～H26 年度）
H24. 11. 6	遊学館の来館者 700 万人		
H25. 6. 4	山形県緑町庭園文化学習施設・生涯学習センター分館「洗心庵」の管理を受託		
H25. 7. 16	洗心庵開園		
H26. 4. 1	洗心庵の指定管理者の指定を受ける（H26 年度）		
H27. 4. 1	4 期目の指定管理者（遊学館、洗心庵）の指定を受ける（H27～H31 年度）	H27. 11. 18 文翔館来館者 300 万人	H27. 4. 1 4 期目の指定管理者の指定を受ける（H27～H31 年度）
		H29. 4. 1 4 期目の指定管理者の指定を受ける（H29～R3 年度）	
H30. 9	H30 年 9 月～R 元年 9 月、県立図書館大規模改修工事	H31. 3. 5 県総合文化芸術館の指定管理者（3 者による共同事業体）の指定を受ける（R1. 12. 1～R7. 3. 31）	
R2. 4. 1	5 期目の指定管理者（遊学館、洗心庵）の指定を受ける（R2～R6 年度）		R2. 4. 1 5 期目の指定管理者の指定を受ける（R2～R6 年度）
		R2. 5. 13 県総合文化芸術館開館	
		R4. 4. 1 5 期目の指定管理者の指定を受ける（R4～R8 年度）	
		R5. 5. 28 文翔館来館者 400 万人	

令和6年度(公財)山形県生涯学習文化財団組織図

令和6年4月1日現在



2 令和6年度基本方針

これまでの経緯を踏まえながら、アフターコロナ等の環境変化を考慮して、財団の目的達成に向け、自主事業については一層効果的、効率的な展開を図っていくとともに、財団事業の中で大きなウエイトを占める指定管理事業についてはその着実な遂行に努めていくこととし、次の項目について重点的に取り組んでいく。

- 1 生涯学習部門については、「第4次教育振興基本計画」及び「山形県生涯学習振興計画」に沿って、学習情報提供の充実を図りながら、人材育成として市町村生涯学習・社会教育関係職員研修や、地域づくりリーダー育成のための研修を実施する。また、山形を多様な切り口から学習・研究する「山形学」を推進するとともに、「やまがた地域創生事業」により、地域の生涯学習活動を効果的に支援する。
- 2 文化振興部門については、「山形県文化推進基本計画」に沿って、文化芸術鑑賞機会の充実を進め文化芸術活動への参加を促進するとともに、引き続き県民の郷土への理解を深めるために文翔館企画展を実施する。さらに、地域での取組みである街なか賑わいフェスティバルと連携するほか、地元大学や団体等が主催するイベントを積極的に受け入れて中心市街地の賑わいづくりを促進し、来館者の増加を図る。
- 3 男女共同参画部門については、女性の活躍推進を支える女性リーダーの育成と活用など人材育成事業を強化するとともに、男性の意識改革に向けた取組みを実施する。また、県・市町村との連携を強化し、各団体・グループの基盤の充実及びネットワークの推進に取り組み、地域における身近な男女共同参画の促進に努める。
- 4 指定管理事業については、各施設について引き続き、利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、施設利用のPRを強化し、施設の利用促進に繋げていく。さらに、生涯学習センター・男女共同参画センターにおいて、ニーズの高いWeb会議やテレワークに対応したICT環境を整えつつ、多目的利用が可能な施設としての利便性・経済性のPRに一層努めるほか、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、県民生涯学習活動の拠点としての「遊学館」のネームバリューを活かした利用促進に取り組む。

また、総合文化芸術館（やまぎん県民ホール）については、指定管理者みんぐるやまがたの一員として良好な管理運営に努めるとともに、文化団体等と連携を図りながら本県の文化活動の拠点として本県文化の発信と県民の利用促進に向け取り組んでいく。

3 令和6年度 事業体系図

生涯学習部門・管理部門（山形県生涯学習センター）

【公1】

県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業

令和6年度目標指標

1 学習情報・機会の提供

◎総ページビュー件数 410,000件
R5:400,910件(R5.12月末現在)
R4:392,680件(R4.12月末現在)

◎「山形学」参加者満足度

(アンケート) 90%
R5:【会場】85.7%
R4:【会場】89.1%

2 学習活動支援者の育成

◎学習活動支援者養成事業参加者満足度
(アンケート) 90%
R5: 91.0% R4: 90.0%

3 学習成果の活用

4 県民生涯学習活動の場の提供

◎施設利用率の向上
(ホール:50%、研修室54%、洗心庵ホール等90%)
R5:ホール52.7%、研修室59.3%、洗心庵ホール93.3%

5 その他生涯学習推進に関する事業

調査・資料収集

講座・セミナー・育成

講座・セミナー・育成

講座・セミナー・育成

施設の貸与

連携・支援

学習情報収集・提供事業

長寿社会づくり推進事業

「ふるさと塾」推進事業

広報紙発行事業

「山形学」推進事業

山形県地域づくり実践交流会(新規)

生涯学習支援事業

生涯学習活動実践団体との連携事業

生涯学習関係職員研修事業

高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

シニア地域実践活動支援事業

山形県地域づくり実践交流会

高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業(再掲)

遊学館施設管理運営事業

洗心庵施設管理運営事業

施設利用促進事業

生涯学習事業等企画運営

明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関連事業

公1人件費等(自主事業費分、退職給付費用含む)

公1事業費計

管理費からの費用按分

① 公1事業合計

うち人件費

うち退職給付費用(再掲)

うち減価償却費

【収1】

遊学館施設等の一部維持、管理及び貸与に関する事業

遊学館・生涯学習センター(霞城セントラル)

施設管理運営事業

洗心庵施設管理運営事業

管理費からの費用按分

② 収1事業合計

(うち人件費)

①+② 生涯学習部門合計

総務部門

【その他1】

公益財団法人やまがた教育振興財団の事務に関する事業

奨学金の貸付事務・基本財産・運用財産の管理・運用

人件費

③ 他1事業合計

(うち人件費)

【法人】

管理費

一般管理費(役員報酬・人件費含む)

自主事業費への費用按分

④ 法人会計合計

うち人件費

うち減価償却費

③+④ 総務部門合計

《法人合計》

公益事業会計	公1	120,804	337,279	法人合計	414,556
	公2	176,602			
	公3	39,873			
収益事業等会計	収1	50,469	55,812		
	収2	3,815			
	他1	1,528			
法人会計		21,465			

6年度当初予算
(単位:千円)

1,127

589

1,164

655

4,152

310

4,201

0

335

6,627

471

-

-

53,818

14,232

661

59

0

24,821

113,222

7,582

120,804

53,711

788

0

46,141

3,880

448

50,469

3,771

171,273

71

1,457

1,528

1,457

41,267

△ 19,802

21,465

16,422

105

22,993

文化振興部門(山形県郷土館)

【公2】

県民の文化振興に関する事業

1 施設の保存・公開と
県民の郷土への理解促進◎年間入館者数 17万人
R5:15.1万人、R4:11.7万人

施設の管理

郷土館管理運営事業

(文翔館街なか賑わい推進事業)

博物館等の展示

(文翔館収蔵品展・企画展)

2 県民文化活動の場の提供

施設の貸与

(郷土館管理運営事業(再掲))

◎施設利用率の向上(ギャラリー50%、鑑賞ホール60%)
R5:ギャラリー34.9%、鑑賞ホール54.1%
R4:ギャラリー43.1%、鑑賞ホール59.5%

総合文化芸術館管理運営事業

3 文化力の向上を目指す
芸術文化事業の実施

主催公演

文翔館芸術劇場

◎鑑賞者満足度(アンケート) 85%
R5:81.1%、R4:91.2%

文翔館創作劇場

芸術文化鑑賞普及事業

4 県民文化活動の拠点施設
としての機能強化

連携・支援

文化団体等連携支援事業

◎支援団体実施事業の入館者・鑑賞者等数23万人
R5:21.3万人、R4:20万人

アート・サポート事業

文翔館文化活動支援事業

公2人件費(自主事業費)

15,052

公2事業費計 167,686

管理費からの費用按分

8,916

⑤ 公2事業合計

176,602

うち人件費 55,221

うち減価償却費

0

【収2】

文翔館施設の一部維持、管理
及び貸与に関する事業◎グッズ年間販売額 50万円
R5:50.2万円、R4:25.8万円

文翔館施設管理運営事業

◎文翔館ウエディングフォト活用事業 36万円
R5:31万円

文翔館啓発用グッズ販売事業

文翔館ウエディングフォト活用事業

◎スタインウェイを弾いてみよう2024 5万円

スタインウェイを弾いてみよう2024

管理費からの費用按分

310

⑥ 収2事業合計

3,815

(うち人件費)

1,778

⑤+⑥ 文化振興部門合計

180,417

男女共同参画部門(山形県男女共同参画センター)

【公3】

男女共同参画の推進に関する事業

1 県民の男女共同参画に
関する意識改革

講座・セミナー・育成

学習・研修・普及啓発事業

調査・資料収集

情報収集・提供事業

2 地域における身近な
男女共同参画の推進

連携・支援

地域連携強化事業

団体活動支援・交流事業

3 ワークライフバランス及び女
性の活躍推進

講座・セミナー・育成

女性の人材育成事業

連携・支援

男性の意識啓発事業

4 男女共同参画に関する
相談・支援

相談・助言

相談事業

講座・セミナー・育成

5 女性のつながり緊急サポート

相談

緊急サポート事業

6 その他男女共同に関する
業務

調査・資料収集

調査・研究事業

施設管理運営

運営管理事業

全国女性会館協議会全国大会開催
事業

全国大会開催事業

全国大会開催

全国大会開催事業

◎チェリア塾の修了生総数
令和元年度まで430名、令和7年度まで610名
R5:501名 R4:486名、

公3人件費(受託事業費)

18,694

公3人件費(自主事業費)

5,103

公3事業費計 37,327

管理費からの費用按分

2,546

公3事業合計 39,873

うち人件費 26,138

うち減価償却費

0

男女共同参画部門合計

39,873

4 令和6年度収支予算

収 支 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	24,158	23,730	428
特定資産受取利息	24,158	23,730	428
受取利用料金	21,108	19,240	1,868
受取利用料金	21,108	19,240	1,868
事業収益	248,255	246,399	1,856
自主事業収益	4,501	4,416	85
受託事業収益	243,754	241,983	1,771
受取補助金等	10,081	10,411	△ 330
受取県補助金	9,881	9,811	70
受取その他補助金	200	600	△ 400
受取負担金	8,592	1,528	7,064
受取負担金	8,592	1,528	7,064
受取寄附金	102,000	109,000	△ 7,000
受取寄附金振替額	102,000	109,000	△ 7,000
雑収益	362	316	46
受取利息	1	1	0
雑収益	361	315	46
経常収益計	414,556	410,624	3,932
(2) 経常費用			
事業費	393,091	388,583	4,508
自主事業費	117,451	119,698	△ 2,247
役員報酬	6,536	6,563	△ 27
給料手当	7,841	7,764	77
臨時雇賃金	38,336	38,567	△ 231
退職給付費用	788	640	148
福利厚生費	8,505	9,236	△ 731
会議費	468	548	△ 80
旅費交通費	1,843	1,439	404
通信運搬費	1,501	1,360	141

科 目	当年度	前年度	増 減
什器備品費	0	185	△ 185
消耗品費	2,008	2,021	△ 13
印刷製本費	3,149	2,909	240
燃料費	156	175	△ 19
賃借料	972	1,229	△ 257
保険料	227	249	△ 22
諸謝金	2,118	2,147	△ 29
租税公課	6	67	△ 61
支払負担金	2,242	2,233	9
支払助成金	26,280	26,790	△ 510
委託費	12,048	13,322	△ 1,274
物販仕入費	300	250	50
雑費	2,127	2,004	123
受託事業費	275,640	268,885	6,755
臨時雇賃金	69,045	65,851	3,194
福利厚生費	11,025	11,581	△ 556
会議費	1,281	292	989
旅費交通費	2,544	2,926	△ 382
通信運搬費	2,705	2,602	103
什器備品費	230	230	0
消耗品費	4,499	4,612	△ 113
修繕費	6,358	6,261	97
印刷製本費	2,898	2,832	66
燃料費	3,960	3,586	374
光熱水費	11,730	10,555	1,175
賃借料	2,447	2,402	45
保険料	266	269	△ 3
諸謝金	4,365	4,399	△ 34
租税公課	6,511	6,451	60
支払負担金	13,943	13,482	461
支払助成金	910	1,310	△ 400
委託費	130,586	129,052	1,534
雑費	337	192	145
管理費	21,465	22,041	△ 576
役員報酬	7,386	7,558	△ 172
臨時雇賃金	6,753	6,838	△ 85
福利厚生費	2,283	2,211	72
会議費	43	41	2

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	558	650	△ 92
通信運搬費	174	180	△ 6
減価償却費	105	180	△ 75
什器備品費	260	350	△ 90
消耗品費	491	520	△ 29
修繕費	200	200	0
印刷製本費	156	180	△ 24
燃料費	17	19	△ 2
賃借料	155	170	△ 15
保険料	23	25	△ 2
諸謝金	1,821	1,821	0
租税公課	202	202	0
支払負担金	373	390	△ 17
委託費	300	350	△ 50
雑費	165	156	9
経常費用計	414,556	410,624	3,932
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	4,603	4,603	0
一般正味財産期末残高	4,603	4,603	0
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	6,173	14,000	△ 7,827
特定資産受取利息	6,173	14,000	△ 7,827
一般正味財産への振替額	△ 108,499	△ 124,215	15,716
当期指定正味財産増減額	△ 102,326	△ 110,215	7,889
指定正味財産期首残高	2,747,127	2,857,342	△ 110,215
指定正味財産期末残高	2,644,801	2,747,127	△ 102,326
III 正味財産期末残高	2,649,404	2,751,730	△ 102,326

※前年度の指定正味財産期首残高は令和4年度決算の額である。

収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益	0	0	0	14,631	14,631	0	0	0	0	0	9,527		24,158
特定資産受取利息	0	0	0	14,631	14,631	0	0	0	0	0	9,527		24,158
受取利用料金	8,752	5,412	328	0	14,492	5,263	1,353	0	0	6,616	0		21,108
受取利用料金	8,752	5,412	328	0	14,492	5,263	1,353	0	0	6,616	0		21,108
事業収益	63,420	106,921	30,411	0	200,752	44,752	2,751	0	0	47,503	0		248,255
自主事業収益	272	3,315	0	0	3,587	0	914	0	0	914	0		4,501
受託事業収益	63,148	103,606	30,411	0	197,165	44,752	1,837	0	0	46,589	0		243,754
受取補助金等	9,881	0	200	0	10,081	0	0	0	0	0	0		10,081
受取県補助金	9,881	0	0	0	9,881	0	0	0	0	0	0		9,881
受取その他補助金	0	0	200	0	200	0	0	0	0	0	0		200
受取負担金	0	6,199	865	0	7,064	0	0	1,528	0	1,528	0		8,592
受取負担金	0	6,199	865	0	7,064	0	0	1,528	0	1,528	0		8,592
受取寄附金	0	0	0	89,956	89,956	0	0	0	0	0	12,044		102,000
受取寄附金振替額	0	0	0	89,956	89,956	0	0	0	0	0	12,044		102,000
雑収益	218	0	85	0	303	59	0	0	0	59	0		362
受取利息	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		1
雑収益	217	0	85	0	302	59	0	0	0	59	0		361
経常収益計	82,271	118,532	31,889	104,587	337,279	50,074	4,104	1,528	0	55,706	21,571		414,556
(2) 経常費用													
事業費	120,804	176,602	39,873	0	337,279	50,469	3,815	1,528	0	55,812			393,091
自主事業費	44,963	60,843	9,059	0	114,865	448	610	1,528	0	2,586			117,451
役員報酬	1,333	4,274	533	0	6,140	267	129	0	0	396			6,536
給料手当	7,841	0	0	0	7,841	0	0	0	0	0			7,841
臨時雇賃金	15,279	15,604	5,914	0	36,797	135	135	1,269	0	1,539			38,336
退職給付費用	788	0	0	0	788	0	0	0	0	0			788
福利厚生費	4,166	3,062	997	0	8,225	46	46	188	0	280			8,505
会議費	367	71	30	0	468	0	0	0	0	0			468
旅費交通費	1,191	382	270	0	1,843	0	0	0	0	0			1,843
通信運搬費	1,070	315	100	0	1,485	0	0	16	0	16			1,501
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
消耗品費	1,540	313	100	0	1,953	0	0	55	0	55			2,008
印刷製本費	2,279	720	150	0	3,149	0	0	0	0	0			3,149
燃料費	52	87	17	0	156	0	0	0	0	0			156
賃借料	852	120	0	0	972	0	0	0	0	0			972
保険料	80	124	23	0	227	0	0	0	0	0			227
諸謝金	1,686	72	360	0	2,118	0	0	0	0	0			2,118
租税公課	0	6	0	0	6	0	0	0	0	0			6
支払負担金	230	2,012	0	0	2,242	0	0	0	0	0			2,242
支払助成金	4,630	21,650	0	0	26,280	0	0	0	0	0			26,280
委託費	859	10,889	300	0	12,048	0	0	0	0	0			12,048
物販仕入費	0	0	0	0	0	0	300	0	0	300			300
雑費	720	1,142	265	0	2,127	0	0	0	0	0			2,127
受託事業費	75,841	115,759	30,814	0	222,414	50,021	3,205	0	0	53,226			275,640
臨時雇賃金	20,998	27,764	16,131	0	64,893	2,889	1,263	0	0	4,152			69,045
福利厚生費	3,306	4,517	2,563	0	10,386	434	205	0	0	639			11,025
会議費	58	1,138	85	0	1,281	0	0	0	0	0			1,281
旅費交通費	528	1,226	790	0	2,544	0	0	0	0	0			2,544
通信運搬費	605	712	1,197	0	2,514	43	148	0	0	191			2,705

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
什器備品費	207	0	0	0	207	23	0	0	0	23			230
消耗品費	1,204	1,473	802	0	3,479	667	353	0	0	1,020			4,499
修繕費	776	4,840	20	0	5,636	673	49	0	0	722			6,358
印刷製本費	490	744	1,448	0	2,682	30	186	0	0	216			2,898
燃料費	0	3,920	0	0	3,920	0	40	0	0	40			3,960
光熱水費	1,424	10,047	0	0	11,471	158	101	0	0	259			11,730
賃借料	457	962	780	0	2,199	42	206	0	0	248			2,447
保険料	76	133	43	0	252	14	0	0	0	14			266
諸謝金	981	135	3,249	0	4,365	0	0	0	0	0			4,365
租税公課	1,616	3,038	684	0	5,338	1,112	61	0	0	1,173			6,511
支払負担金	60	192	40	0	292	13,651	0	0	0	13,651			13,943
支払助成金	0	0	910	0	910	0	0	0	0	0			910
委託費	43,013	54,755	1,985	0	99,753	30,280	553	0	0	30,833			130,586
雑費	42	163	87	0	292	5	40	0	0	45			337
管理費											21,465		21,465
役員報酬											7,386		7,386
臨時雇賃金											6,753		6,753
福利厚生費											2,283		2,283
会議費											43		43
旅費交通費											558		558
通信運搬費											174		174
減価償却費											105		105
什器備品費											260		260
消耗品費											491		491
修繕費											200		200
印刷製本費											156		156
燃料費											17		17
賃借料											155		155
保険料											23		23
諸謝金											1,821		1,821
租税公課											202		202
支払負担金											373		373
委託費											300		300
雑費											165		165
経常費用計	120,804	176,602	39,873	0	337,279	50,469	3,815	1,528	0	55,812	21,465		414,556
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 38,533	△ 58,070	△ 7,984	104,587	0	△ 395	289	0	0	△ 106	106		0
当期経常増減額	△ 38,533	△ 58,070	△ 7,984	104,587	0	△ 395	289	0	0	△ 106	106		0
2. 経常外増減の部													
（1）経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
（2）経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額				0	0	395	△ 289		0	106	△ 106		0
当期一般正味財産増減額	△ 38,533	△ 58,070	△ 7,984	104,587	0	0	0	0	0	0	0		0
一般正味財産期首残高				1,661	1,661				0	0	2,942		4,603
一般正味財産期末残高				1,661	1,661	0	0	0	0	0	2,942		4,603
II 指定正味財産増減の部													
特定資産運用益				3,704	3,704					0	2,469		6,173
特定資産受取利息				3,704	3,704					0	2,469		6,173
一般正味財産への振替額				△ 93,855	△ 93,855					0	△ 14,644		△ 108,499
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 90,151	△ 90,151	0	0	0	0	0	△ 12,175		△ 102,326
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,747,127
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,644,801
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,649,404

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

借入の予定			あり	○	なし
事業番号	借入先	金 額	使 途		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

設備投資の予定			あり	○	なし
事業番号	設備投資 の内容	支出又は収入 の予定額	資金調達方法又は 取得資産の使途		

5 令和5年度 決算

貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	42,540,248	30,950,540	11,589,708
未収金	2,739,287	8,011,559	△ 5,272,272
前払金	31,150	36,280	△ 5,130
立替金	3,984	1,752	2,232
流動資産合計	45,314,669	39,000,131	6,314,538
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
生涯学習文化事業資産	2,752,324,197	2,838,367,594	△ 86,043,397
定期預金	120,000,000	140,000,000	△ 20,000,000
普通預金	429,136,129	47,240,129	381,896,000
投資有価証券	2,203,188,068	2,651,127,465	△ 447,939,397
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	18,975,000	0
車両運搬具	1	1	0
退職給付引当資産	7,192,508	6,802,797	389,711
特定資産合計	2,778,491,706	2,864,145,392	△ 85,653,686
(2) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1	1	0
ソフトウェア	104,760	209,520	△ 104,760
長期前払金	53,964	150,516	△ 96,552
その他固定資産合計	158,726	360,038	△ 201,312
固定資産合計	2,778,650,432	2,864,505,430	△ 85,854,998
資産合計	2,823,965,101	2,903,505,561	△ 79,540,460
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	34,694,538	30,898,947	3,795,591
前受金	287,340	221,990	65,350
預り金	1,724,341	121,280	1,603,061
流動負債合計	36,706,219	31,242,217	5,464,002
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,192,508	6,802,432	390,076
固定負債合計	7,192,508	6,802,432	390,076
負債合計	43,898,727	38,044,649	5,854,078
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	2,771,299,197	2,857,342,594	△ 86,043,397
指定正味財産合計	2,771,299,197	2,857,342,594	△ 86,043,397
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	2,771,299,197	(2,857,342,594)	(△86,043,397)
2. 一般正味財産	8,767,177	8,118,318	648,859
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1)	(366)	(365)
正味財産合計	2,780,066,374	2,865,460,912	△ 85,394,538
負債及び正味財産合計	2,823,965,101	2,903,505,561	△ 79,540,460

正味財産増減計算書
令和年5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	28,465,953	33,477,967	△ 5,012,014
特定資産受取利息	28,465,953	33,477,967	△ 5,012,014
受取利用料金	18,888,250	18,221,045	667,205
受取利用料金	18,888,250	18,221,045	667,205
事業収益	246,903,155	246,360,210	542,945
自主事業収益	4,167,600	3,052,880	1,114,720
受託事業収益	242,735,555	243,307,330	△ 571,775
受取補助金等	9,702,937	9,566,750	136,187
受取県補助金	9,585,000	9,566,750	18,250
受取その他補助金	117,937	0	117,937
受取負担金	1,528,000	7,836,390	△ 6,308,390
受取負担金	1,528,000	7,836,390	△ 6,308,390
受取寄附金	84,700,000	73,700,000	11,000,000
受取寄附金等振替額	84,700,000	73,700,000	11,000,000
雑収益	503,607	562,932	△ 59,325
受取利息	68	54	14
雑収益	503,539	562,878	△ 59,339
経常収益計	390,691,902	389,725,294	966,608
(2) 経常費用			
事業費	370,880,095	370,692,928	187,167
自主事業費	108,057,087	106,921,900	1,135,187
役員報酬	6,568,300	6,530,200	38,100
給料手当	7,615,805	7,554,820	60,985
臨時雇賃金	34,959,578	33,581,895	1,377,683
退職給付費用	390,076	624,635	△ 234,559
福利厚生費	8,241,183	8,113,637	127,546
会議費	357,186	251,565	105,621
旅費交通費	898,944	367,820	531,124
通信運搬費	953,999	1,025,391	△ 71,392
什器備品費	0	237,050	△ 237,050
消耗品費	1,213,045	1,054,643	158,402

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	2, 169, 343	2, 159, 751	9, 592
燃料費	94, 096	74, 681	19, 415
賃借料	775, 749	787, 337	△ 11, 588
保険料	224, 327	211, 241	13, 086
諸謝金	1, 319, 478	1, 708, 040	△ 388, 562
租税公課	59, 951	55, 327	4, 624
支払負担金	2, 194, 868	2, 324, 503	△ 129, 635
支払助成金	25, 149, 742	25, 499, 482	△ 349, 740
委託費	13, 212, 232	13, 156, 580	55, 652
物販仕入費	380, 360	128, 036	252, 324
雑費	1, 278, 825	1, 475, 266	△ 196, 441
受託事業費	262, 823, 008	263, 771, 028	△ 948, 020
臨時雇賃金	66, 700, 760	66, 838, 149	△ 137, 389
福利厚生費	10, 652, 111	10, 568, 542	83, 569
会議費	410, 365	355, 857	54, 508
旅費交通費	1, 834, 112	1, 296, 779	537, 333
通信運搬費	2, 094, 460	2, 305, 370	△ 210, 910
什器備品費	0	1, 002, 430	△ 1, 002, 430
消耗品費	4, 178, 528	5, 378, 565	△ 1, 200, 037
修繕費	7, 273, 717	6, 866, 798	406, 919
印刷製本費	2, 689, 625	2, 292, 502	397, 123
燃料費	4, 419, 580	4, 705, 190	△ 285, 610
光熱水費	8, 544, 572	9, 869, 643	△ 1, 325, 071
賃借料	2, 192, 011	1, 937, 607	254, 404
保険料	226, 690	222, 450	4, 240
諸謝金	4, 268, 483	3, 929, 629	338, 854
租税公課	5, 937, 549	5, 489, 373	448, 176
支払負担金	12, 413, 060	12, 458, 426	△ 45, 366
支払助成金	941, 802	751, 227	190, 575
委託費	127, 735, 898	127, 375, 610	360, 288
雑費	309, 685	126, 881	182, 804
管理費	19, 162, 948	18, 989, 024	173, 924
役員報酬	6, 866, 850	7, 160, 000	△ 293, 150
臨時雇賃金	6, 762, 213	6, 656, 790	105, 423
福利厚生費	2, 157, 728	2, 101, 259	56, 469
会議費	44, 186	39, 122	5, 064

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	247,787	66,887	180,900
通信運搬費	90,223	94,974	△ 4,751
減価償却費	104,760	104,760	0
什器備品費	68,860	203,500	△ 134,640
消耗品費	330,603	315,091	15,512
印刷製本費	72,732	109,065	△ 36,333
燃料費	10,455	8,297	2,158
賃借料	96,429	99,625	△ 3,196
保険料	23,934	22,359	1,575
諸謝金	1,638,000	1,573,000	65,000
租税公課	153,000	187,000	△ 34,000
支払負担金	304,604	138,375	166,229
委託費	90,750	0	90,750
雑費	99,834	108,920	△ 9,086
経常費用計	390,043,043	389,681,952	361,091
評価損益等調整前当期経常増減額	648,859	43,342	605,517
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	648,859	43,342	605,517
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	648,859	43,342	605,517
一般正味財産期首残高	8,118,318	8,074,976	43,342
一般正味財産期末残高	8,767,177	8,118,318	648,859
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	16,909,312	25,323,722	△ 8,414,410
特定資産受取利息	16,909,312	25,323,722	△ 8,414,410
一般正味財産への振替額	△ 102,952,709	△ 100,301,684	△ 2,651,025
一般正味財産への振替額	△ 102,952,709	△ 100,301,684	△ 2,651,025
当期指定正味財産増減額	△ 86,043,397	△ 74,977,962	△ 11,065,435
指定正味財産期首残高	2,857,342,594	2,932,320,556	△ 74,977,962
指定正味財産期末残高	2,771,299,197	2,857,342,594	△ 86,043,397
Ⅲ 正味財産期末残高	2,780,066,374	2,865,460,912	△ 85,394,538

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益	0	0	0	17,215,865	17,215,865	0	0	0	0	0	11,250,088		28,465,953
特定資産受取利息	0	0	0	17,215,865	17,215,865	0	0	0	0	0	11,250,088		28,465,953
受取利用料金	8,757,860	3,811,540	220,170	0	12,789,570	5,145,795	952,885	0	0	6,098,680	0		18,888,250
受取利用料金	8,757,860	3,811,540	220,170	0	12,789,570	5,145,795	952,885	0	0	6,098,680	0		18,888,250
事業収益	62,720,700	107,585,660	30,304,795	0	200,611,155	43,643,000	2,649,000	0	0	46,292,000	0		246,903,155
自主事業収益	235,700	3,119,900	0	0	3,355,600	0	812,000	0	0	812,000	0		4,167,600
受託事業収益	62,485,000	104,465,760	30,304,795	0	197,255,555	43,643,000	1,837,000	0	0	45,480,000	0		242,735,555
受取補助金等	9,702,937	0	0	0	9,702,937	0	0	0	0	0	0		9,702,937
受取県補助金	9,585,000	0	0	0	9,585,000	0	0	0	0	0	0		9,585,000
受取その他補助金	117,937	0	0	0	117,937	0	0	0	0	0	0		117,937
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	1,528,000	0	1,528,000	0		1,528,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	1,528,000	0	1,528,000	0		1,528,000
受取寄附金	0	0	0	76,740,000	76,740,000	0	0	0	0	0	7,960,000		84,700,000
受取寄附金等振替額	0	0	0	76,740,000	76,740,000	0	0	0	0	0	7,960,000		84,700,000
雑収益	200,479	165,048	66,000	0	431,527	72,080	0	0	0	72,080	0		503,607
受取利息	44	24	0	0	68	0	0	0	0	0	0		68
雑収益	200,435	165,024	66,000	0	431,459	72,080	0	0	0	72,080	0		503,539
経常収益計	81,381,976	111,562,248	30,590,965	93,955,865	317,491,054	48,860,875	3,601,885	1,528,000	0	53,990,760	19,210,088		390,691,902
(2) 経常費用													
事業費	111,774,866	170,308,096	35,417,276	0	317,500,238	48,212,829	3,639,028	1,528,000	0	53,379,857	0		370,880,095
自主事業費	39,377,629	62,026,685	3,990,109	0	105,394,423	446,247	688,417	1,528,000	0	2,662,664	0		108,057,087
役員報酬	1,339,250	4,295,840	535,700	0	6,170,790	267,850	129,660	0	0	397,510	0		6,568,300
給料手当	7,615,805	0	0	0	7,615,805	0	0	0	0	0	0		7,615,805
臨時雇賃金	14,214,113	16,492,335	2,713,642	0	33,420,090	135,244	135,244	1,269,000	0	1,539,488	0		34,959,578
退職給付費用	390,076	0	0	0	390,076	0	0	0	0	0	0		390,076
福利厚生費	4,050,776	3,309,557	606,544	0	7,966,877	43,153	43,153	188,000	0	274,306	0		8,241,183
会議費	311,068	46,118	0	0	357,186	0	0	0	0	0	0		357,186
旅費交通費	814,600	84,344	0	0	898,944	0	0	0	0	0	0		898,944
通信運搬費	686,201	251,798	0	0	937,999	0	0	16,000	0	16,000	0		953,999
消耗品費	1,014,595	143,450	0	0	1,158,045	0	0	55,000	0	55,000	0		1,213,045
印刷製本費	1,430,385	738,958	0	0	2,169,343	0	0	0	0	0	0		2,169,343
燃料費	31,365	52,276	10,455	0	94,096	0	0	0	0	0	0		94,096
賃借料	742,127	33,622	0	0	775,749	0	0	0	0	0	0		775,749
保険料	80,723	119,670	23,934	0	224,327	0	0	0	0	0	0		224,327
諸謝金	1,278,302	41,176	0	0	1,319,478	0	0	0	0	0	0		1,319,478
租税公課	0	59,951	0	0	59,951	0	0	0	0	0	0		59,951
支払負担金	191,600	2,003,268	0	0	2,194,868	0	0	0	0	0	0		2,194,868
支払助成金	4,086,462	21,063,280	0	0	25,149,742	0	0	0	0	0	0		25,149,742
委託費	704,550	12,507,682	0	0	13,212,232	0	0	0	0	0	0		13,212,232
物販仕入費	0	0	0	0	0	0	380,360	0	0	380,360	0		380,360
雑費	395,631	783,360	99,834	0	1,278,825	0	0	0	0	0	0		1,278,825
受託事業費	72,397,237	108,281,411	31,427,167	0	212,105,815	47,766,582	2,950,611	0	0	50,717,193	0		262,823,008
臨時雇賃金	20,063,650	25,297,523	17,511,829	0	62,873,002	2,694,812	1,132,946	0	0	3,827,758	0		66,700,760
福利厚生費	3,307,248	3,855,572	2,859,353	0	10,022,173	455,559	174,379	0	0	629,938	0		10,652,111
会議費	39,145	242,979	128,241	0	410,365	0	0	0	0	0	0		410,365
旅費交通費	224,861	1,200,245	409,006	0	1,834,112	0	0	0	0	0	0		1,834,112
通信運搬費	427,646	605,358	903,476	0	1,936,480	32,366	125,614	0	0	157,980	0		2,094,460
消耗品費	1,014,529	1,573,554	881,116	0	3,469,199	356,964	352,365	0	0	709,329	0		4,178,528
修繕費	1,308,153	4,850,210	0	0	6,158,363	1,066,362	48,992	0	0	1,115,354	0		7,273,717
印刷製本費	256,300	800,976	1,413,405	0	2,470,681	18,700	200,244	0	0	218,944	0		2,689,625
燃料費	35,838	4,335,963	0	0	4,371,801	3,982	43,797	0	0	47,779	0		4,419,580
光熱水費	894,969	7,474,661	0	0	8,369,630	99,441	75,501	0	0	174,942	0		8,544,572
賃借料	504,526	764,094	718,837	0	1,987,457	42,169	162,385	0	0	204,554	0		2,192,011
保険料	78,654	118,850	15,680	0	213,184	13,506	0	0	0	13,506	0		226,690
諸謝金	1,045,000	214,973	3,008,510	0	4,268,483	0	0	0	0	0	0		4,268,483

(単位:円)													
科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
租税公課	1,619,037	2,398,040	721,412	0	4,738,489	1,139,109	59,951	0	0	1,199,060	0		5,937,549
支払負担金	39,000	131,100	30,000	0	200,100	12,212,960	0	0	0	12,212,960	0		12,413,060
支払助成金	75,000	0	866,802	0	941,802	0	0	0	0	0	0		941,802
委託費	41,357,026	54,311,321	1,900,150	0	97,568,497	29,618,802	548,599	0	0	30,167,401	0		127,735,898
雑費	106,655	105,992	59,350	0	271,997	11,850	25,838	0	0	37,688	0		309,685
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,162,948		19,162,948
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,866,850		6,866,850
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,762,213		6,762,213
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,157,728		2,157,728
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,186		44,186
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247,787		247,787
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90,223		90,223
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104,760		104,760
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,860		68,860
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330,603		330,603
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,732		72,732
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,455		10,455
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96,429		96,429
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,934		23,934
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,638,000		1,638,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153,000		153,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	304,604		304,604
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90,750		90,750
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99,834		99,834
経常費用計	111,774,866	170,308,096	35,417,276	0	317,500,238	48,212,829	3,639,028	1,528,000	0	53,379,857	19,162,948		390,043,043
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 30,392,890	△ 58,745,848	△ 4,826,311	93,955,865	△ 9,184	648,046	△ 37,143	0	0	610,903	47,140		648,859
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 30,392,890	△ 58,745,848	△ 4,826,311	93,955,865	△ 9,184	648,046	△ 37,143	0	0	610,903	47,140		648,859
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 30,392,890	△ 58,745,848	△ 4,826,311	93,955,865	△ 9,184	648,046	△ 37,143	0	0	610,903	47,140	0	648,859
他会計振替額	0	0	0	0	0	△ 648,046	37,143	0	0	△ 610,903	610,903		0
当期一般正味財産増減額	△ 30,392,890	△ 58,745,848	△ 4,826,311	93,955,865	△ 9,184	0	0	0	0	0	658,043	0	648,859
一般正味財産期首残高	△ 397,639,609	△ 613,024,772	△ 43,503,381	1,055,454,366	1,286,604	2,210,514	162,911	0	136,443	2,509,868	4,321,846		8,118,318
一般正味財産期末残高	△ 428,032,499	△ 671,770,620	△ 48,329,692	1,149,410,231	1,277,420	2,210,514	162,911	0	136,443	2,509,868	4,979,889		8,767,177
II 指定正味財産増減の部													
特定資産運用益	0	0	0	10,145,587	10,145,587	0	0	0	0	0	6,763,725		16,909,312
特定資産受取利息	0	0	0	10,145,587	10,145,587	0	0	0	0	0	6,763,725		16,909,312
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 87,691,625	△ 87,691,625	0	0	0	0	0	△ 15,261,084		△ 102,952,709
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 87,691,625	△ 87,691,625	0	0	0	0	0	△ 15,261,084		△ 102,952,709
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 77,546,038	△ 77,546,038	0	0	0	0	0	△ 8,497,359		△ 86,043,397
指定正味財産期首残高	0	0	0	1,675,300,868	1,675,300,868	0	0	0	0	0	1,182,041,726		2,857,342,594
指定正味財産期末残高	0	0	0	1,597,754,830	1,597,754,830	0	0	0	0	0	1,173,544,367		2,771,299,197
III 正味財産期末残高	△ 428,032,499	△ 671,770,620	△ 48,329,692	2,747,165,061	1,599,032,250	2,210,514	162,911	0	136,443	2,509,868	1,178,524,256		2,780,066,374

※ 会計区分は次のとおり 公 1 及び収 1 : 生涯学習部門、公 2 及び収 2 : 文化振興部門、公 3 : 男女共同参画部門

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 令和2年5月15日最終改正 内閣府公益認定等委員会策定）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・車両運搬具…定額法によっており、残存価額を0円、備忘価額を1円とする。
ソフトウェア…定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (5) リース取引の処理方法
ファイナンス・リース取引（300万円以上）
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、売買取引に準じた会計処理によっている。
ファイナンス・リース取引（300万円未満）
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
生涯学習文化事業資産	2,838,367,594	0	86,043,397	2,752,324,197
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	0	0	18,975,000
車両運搬具	1	0	0	1
退職給付引当資産	6,802,797	389,711	0	7,192,508
小 計	2,864,145,392	389,711	86,043,397	2,778,491,706
合 計	2,864,145,392	389,711	86,043,397	2,778,491,706

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産	0	（ 0）	（ 0）	—
小 計	0	（ 0）	（ 0）	—
特定資産				
生涯学習文化事業資産	2,752,324,197	(2,752,324,197)	（ 0）	—
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	（ 18,975,000）	（ 0）	—
車両運搬具	1	（ 0）	（ 1）	（ 0）
退職給付引当資産	7,192,508	—	（ 0）	（ 7,192,508）
小 計	2,778,491,706	(2,771,299,197)	（ 1）	（ 7,192,508）
合 計	2,778,491,706	(2,771,299,197)	（ 1）	（ 7,192,508）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
車両運搬具	2,216,090	2,216,089	1
その他固定資産			
車両運搬具	2,104,930	2,104,929	1
什器備品	360,675	360,674	1
ソフトウェア	523,800	419,040	104,760
合 計	5,205,495	5,100,732	104,763

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
第184回利付国債(20年)	403,274,735	380,560,000	△ 22,714,735
地方公共団体金融機構債券			
第170回地方公共団体金融機構債(10年)	100,000,000	98,400,000	△ 1,600,000
第171回地方公共団体金融機構債(10年)	100,000,000	99,420,000	△ 580,000
社債			
第517回九州電力社債(10年)	100,000,000	97,357,000	△ 2,643,000
第59回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債(7年)	100,000,000	100,229,900	229,900
第47回東京電力パワーグリッド株式会社社債(10年)	100,000,000	96,167,800	△ 3,832,200
第66回東京電力パワーグリッド社債(10年)2本	200,000,000	197,210,000	△ 2,790,000
第69回東京電力パワーグリッド社債(10年)	100,000,000	102,740,000	2,740,000
第3回東北電力株式会社劣後債(10年)	99,913,333	102,896,100	2,982,767
第559回東北電力社債(3年)2本	200,000,000	199,340,000	△ 660,000
第78回西日本高速道路株式会社社債(5年)2本	200,000,000	198,880,000	△ 1,120,000
第306回日本高速道路保有債務返済機構債(10年)	100,000,000	98,430,000	△ 1,570,000
ノムラグローバルファイナンス社債(10年)	200,000,000	189,640,000	△ 10,360,000
第108回東日本高速道路株式会社社債(10年)	100,000,000	98,220,200	△ 1,779,800
ルノー第26回円貨社債(4年)	100,000,000	101,500,000	1,500,000
合 計	2,203,188,068	2,160,991,000	△ 42,197,068

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
山形県明るい長寿社会づくり推進事業費補助金	山形県	0	9,585,000	9,585,000	0	—
高齢者の生きがい健康づくり対策支援事業助成金	全国明るい長寿社会推進機構連絡協議会	0	117,937	117,937	0	—
負担金						
公益財団法人やまがた教育振興財団運営事務負担金	公益財団法人やまがた教育振興財団	0	1,528,000	1,528,000	0	—
合 計		0	11,230,937	11,230,937	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
第63回利付国債利息	7,650,000
第184回利付国債利息	3,025,754
第123回地方共同発行市場公募地方債利息	1,417,955
第52回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債利息	4,060,000
第3回東北電力株式会社劣後債(10年)	2,099,000
事業実施にかかる指定解除額	84,700,000
合 計	102,952,709

8. ファイナンス・リース取引関係(300万円未満)

ア. リース物件の取得価額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	SmartNetcommunity α	AI主装置・その他機器	ノートパソコン1台	合計
	生涯学習センター	男女共同参画センター	洗心庵	
取得価額相当額	2,786,784	1,108,800	105,600	4,001,184
減価償却累計額相当額	1,625,624	646,800	89,760	2,362,184
期末残高相当額	1,161,160	462,000	15,840	1,639,000

イ. 未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	572,352	1,066,648	1,639,000

ウ、当期の支払リース料及び減価償却相当額

(単位：円)

支払リース料	577,632
減価償却費相当額	577,632

エ、減価償却費相当額の算定方法は、リース期間定額法によっている。

9. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、国債、地方債、地方金融機構債、社債により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、国債、地方債、地方金融機構債、社債であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用方針に基づく取引

金融商品の取引は、資産運用方針に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

なお、財務諸表の注記のうち該当事項がないものについては、記載を省略している。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため内容を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,802,432	390,076			7,192,508

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	小口現金	生涯学習センター内金庫	手元有高 運転資金として	36,100
			同 上 ブックス釣銭用として	10,000
			同 上 利用料金等釣銭用として	20,000
		洗心庵内金庫	同 上 利用料金釣銭用として	20,000
		文翔館内金庫	同 上 運転資として	45,100
	現金	生涯学習センター内金庫	ブックス売上代金の一時保管	1,100
			文翔館グッズ売上代金の一時保管	48,250
			文翔館ボランティアガイド旅費預り金	6,180
	普通預金	山形銀行本店 1	経費支払用口座 運転資金として	39,536,311
		山形銀行本店 2	施設利用料振込口座 運転資金として	243,545
		山形銀行本店 3	施設利用料振込口座 運転資金として	326,400
		荘内銀行県庁前支店 1	施設利用料振込口座 運転資金として	16,365
		荘内銀行県庁前支店 2	施設利用料振込口座 運転資金として	12,850
		きらやか銀行本店 1	施設利用料振込口座 運転資金として	31,810
		きらやか銀行本店 2	施設利用料振込口座 運転資金として	84,430
		きらやか銀行本店 3	チケット代振込口座 運転資金として	864,756
		ゆうちょ銀行 1	受講料振込口座 運転資金として	13,539
		ゆうちょ銀行 2	施設利用料振込口座 運転資金として	1,131,622
		ゆうちょ銀行 3	施設利用料振込口座 運転資金として	57,100
		ゆうちょ銀行 4	施設利用料振込口座 運転資金として	34,790
		ゆうちょ銀行 5	施設利用料振込口座 運転資金として	0
			＜現金預金計＞	42,540,248
	未収金	遊学館等施設利用者 10件	施設利用料金として	196,540
		書店	遊学館ブックス売上金として	37,840
		みんぐる	総合文化芸術館管理運営事業 3月分として	450,000
		山形県委託事業受託料	郷土館指定管理料 他 2 件	1,746,555
		文翔館芸術劇場（自主事業）	仲道郁代ピアノリサイタルチケット代金	230,100
		支払経費の返戻金	青少年地域学習活動支援助成金の額の確定に伴う返戻金 2 件	65,520
			県民芸術祭の事業確定に伴う負担金の返戻金	12,732
			＜未収金計＞	2,739,287
	前払金	郷土館	郷土館ボランティアガイド年間活動保険料等	31,150
	立替金	職員の雇用保険料（個人負担分）	職員の雇用保険料（個人負担分）	3,984
流動資産合計				45,314,669

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産) 特 定 資 産	生涯学習文化事業資産	(定期預金)	事業目的資金として短期運用保有	(120,000,000)
		山形銀行本店 4	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財産として使用している。	20,000,000
		山形銀行本店 5	同 上	60,000,000
		山形銀行本店 6	管理目的保有財産であり、運用益を管理目的事業の財産として使用している。	40,000,000
		(普通預金)		(429,136,129)
		山形銀行本店 1	公益目的事業及び法人会計で保有	429,136,129
		(投資有価証券)	満期保有目的で保有 (保有割合 公益：法人＝6：4)	(2,203,188,068)
		第47回東京電力パワーグリッド株式会社社債	公益目的事業及び法人会計で保有し、運用益は公益目的事業及び法人会計の財源として使用している。	100,000,000
		第3回東北電力株式会社劣後債	同 上	99,913,333
		ルノー第26回円貨社債	同 上	100,000,000
		第559回東北電力社債 2本	同 上	200,000,000
		ノムラグローバルファイナンス社債	同 上	200,000,000
		第184回利付国債(20年)	同 上	403,274,735
		第66回東京電力パワーグリッド社債 2本	同 上	200,000,000
		第517回九州電力社債	同 上	100,000,000
		第170回地方公共団体金融機構債	同 上	100,000,000
		第78回西日本高速道路株式会社社債 2本	同 上	200,000,000
		第306回日本高速道路保有債務返済機構債	同 上	100,000,000
		第108回東日本高速道路株式会社社債	同 上	100,000,000
		第171回地方公共団体金融機構債	同 上	100,000,000
		第69回東京電力パワーグリッド社債	同 上	100,000,000
		第59回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債	同 上	100,000,000
	生涯学習文化事業収蔵品	絵画8点、彫刻1点	公益目的事業で保有し、公益目的事業の用に供している。	18,975,000
	車両運搬具	トヨタウィッシュ 1台	法人管理業務に供するため保有する車両	1
	退職給付引当資産	山形銀行 定期預金	公益目的事業従事職員1名の退職金の財源として管理している預金	7,192,508
			《特定資産計》	2,778,491,706
その他固定資産	車両運搬具	トヨタアクア 1台	公益目的事業及び法人管理業務に供するため保有する車両(保有割合 公益：法人＝9：1)	1
	什器備品	プラズマテレビ一式	公益目的事業に供している。	1
	ソフトウェア	会計ソフト「PCA公益法人会計DX」 1台	法人会計で保有し、経理業務に供している。	104,760
	長期前払金	自動車リサイクル料金	公益目的事業で保有しているトヨタアクアリサイクル預託金	10,360
		自動車リサイクル料金	法人会計で保有しているトヨタウィッシュリサイクル預託金	11,420
		メーカー保守料 ピー・シー・エー(株)	法人会計で保有している会計ソフト「PCA公益法人会計DX」	21,384
		年間サポート料 メコム(株)	法人会計で保有している会計ソフト「PCA公益法人会計DX」	10,800
			＜長期前払金合計＞	53,964
			《その他固定資産計》	158,726
固定資産合計				2,778,650,432

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等		金 額	
資 産 合 計						2,823,965,101	
(流動負債)	未払金	令和 5 年度未払金226件		各事業及び法人管理業務の未払額 (臨時雇賃金・福利厚生費・通信運搬費・消耗品費・修繕費・印刷製本費・委託費ほか) (主な費用は以下のとおり) 1. 委託費 (計 45件) ・ 遊学館空調設備関係保守業務委託料 (黒澤建設工業) ・ 遊学館総合案内受付・設備警備委託料 (東京美装興業) ・ 遊学館清掃・衛生管理業務委託料 (東京美装興業) ・ 洗心庵庭園管理業務委託料 (内外緑化) ・ 文翔館警備委託料3月分 (セロン東北) ・ 文翔館清掃業務委託料3月分 (山形ビルサービス) ・ 文翔館植栽維持管理委託料 (翠紅園) ・ その他業務委託料 2. 租税公課 (計 3件) ・ 令和 5 年度消費税 ・ 令和 5 年度年度法人県民・市民税 3. その他経費 (178件) <未払金計>		(34,694,538)	
						4,114,000	
						1,038,583	
						1,405,800	
						2,667,500	
						1,198,010	
						1,289,640	
						1,045,000	
						10,028,092	
						1,846,100	
						72,000	
						9,989,813	
						34,694,538	
						前受金	生涯学習センター利用者 34件 文翔館利用者 1件
	令和 6 年度ウェディングフォト 1件		5,000				
				<前受金計>		287,340	
預り金	職員 源泉所得税		社会保険料 (個人負担分) として		1,723,320		
			講師謝金等にかかる源泉所得税		1,021		
			<預り金計>		1,724,341		
流動負債合計						36,706,219	
(固定負債)	退職給付引当金	職員		公益目的事業従事職員1名に対する退職金の支払に備えたもの <退職給付引当金計>		7,192,508	
						7,192,508	
固定負債合計						7,192,508	
負 債 合 計						43,898,727	
正 味 財 産						2,780,066,374	

Ⅱ 総務・管理部門

Ⅱ 総務・管理部門 (財団の本部的機能)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023) 625-6411

貸館専用 TEL (023) 676-7182

F A X (023) 625-6415

1 概 要

(1) 本部的機能と役割

公益財団法人山形県生涯学習文化財団の事務局組織を5部制（総務部、管理部、学習振興部、文化振興部、男女共同参画部）として事業を展開していく。

その中で、総務部は財団の予算、経理及び決算をはじめ資産の運用管理など本部的機能を持つとともに、次の事務を担っている。

- ① 理事会及び評議員会に関すること
- ② 定款及び諸規程に関すること
- ③ 登記に関すること
- ④ 組織、人事、服務、給与及び懲戒に関すること
- ⑤ 事業計画及び資金計画に関すること
- ⑥ 予算、経理及び決算に関すること
- ⑦ 財産の管理及び現金の出納に関すること
- ⑧ 情報公開に関すること
- ⑨ 個人情報の保護に関すること
- ⑩ 公印に関すること

また、管理部は、指定管理者として遊学館及び洗心庵の適正な管理運営を担っている。

- ① 山形県生涯学習センター、山形県男女共同参画センター及び山形県生涯学習センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）にかかる施設及び付属設備等の利用許可並びに利用者サービス等の適正な執行に関すること
- ② 県立図書館を含む遊学館の効率的な施設管理の実施に関すること
- ③ 生涯学習センター（霞城セントラル）施設の維持管理
- ④ 歴史文化ゾーン（文翔館、遊学館、洗心庵、博物館分館教育資料館）を活用した情報の提供と活性化

2 令和6年度事業計画

【 総務部門 】

(1) 理事会及び評議員会の開催

(4月1日(月)) 第1回理事会 (みなし決議)

- ・専務理事・常務理事の選定及び事務局長職務の委嘱

(6月5日(水)) 第2回理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・平成5年度事業報告及び決算 (事前に監事による監査を実施)
- ・役員等候補者の選出
- ・定時評議員会の招集

(6月26日(水)) 定時評議員会

- ・平成5年度事業報告及び決算
- ・評議員の選任
- ・理事の選任
- ・監事の選任

(6月26日(水)) 第3回理事会 (みなし決議)

- ・代表理事・専務理事・常務理事の選定

(3月) 第4回理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・令和7年度事業計画及び収支予算

(2) 県議会へ提出する法人経営状況説明書の県提出 (地方自治法 243 条の3 第2項、9月県議会)

- ・平成5年度事業報告及び決算
- ・令和6年度事業計画及び収支予算

(3) 特定資産の適正な管理及び運用

- ・財団事業運営の財源となる特定資産運用益の確保を図るため、安全かつ有利な運用を図る。

特定資産 (生涯学習文化事業資産) 2,752,324,197 円 (平成6年4月1日現在)

令和6年度 予定運用収入 24,158,000 円

令和6年度 予定取崩収入 102,000,000 円

(4) 人事・組織などの適正な管理

【 管理部門 】

《 公益目的事業会計 》

公1：県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業

(1) 県民生涯学習活動の場の提供

① 生涯学習センター、分館「洗心庵」、男女共同参画センターの指定管理業務

ア 県民が生涯学習、芸術文化及び男女共同参画を身近に感じ、その活動のために気軽に利用できる環境づくりを行う。

イ 県民の平等な利用の確保に配慮し、「利用しやすい」「また利用したい」と感じてもらえる適正な貸館業務を行う。

ウ アフター・コロナを見据えて、ニーズの高いWeb会議やテレワークに対応したICT環境を整えつつ、多目的利用が可能な施設としての利便性・経済性のPRに一層努めるほか、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、県民生涯学習活動の拠点としての「遊学館」のネームバリューを活かした利用促進に取り組む。

② 施設利用促進事業

ア 分館「洗心庵」は擁壁工事が終了し、中の様子が覗ける造りになったことから、より多くの県民に親しんでもらえるよう呈茶事業・写真コンテストを行い、知名度向上や利用促進に努める。

イ 複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、山形県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」の4施設が連携し、学習環境に優れたエリアとしての情報を発信し、利用の促進を図っていく。

また、このエリアが「歴史文化ゾーン」と名付けられていることから、エリア内の歴史的文化的な資源を発掘、利活用しながら、「歴史文化ゾーン」の名にふさわしいストーリー性を持った魅力を発信していく。

《 収益事業等会計 》

収1：遊学館及び分館施設等の一部維持、管理及び貸与に関する事業

(1) 遊学館・生涯学習センター（霞城セントラル）施設維持管理事業

(2) 洗心庵施設管理運営事業

上記の事業に関し、県民に広く親しまれ活用されるよう、適正な貸館運営業務を行う。

3 令和5年度事業実績

【 総務部門 】

(1) 会議の開催状況

① 理事会

ア 第1回理事会

- ・提案日 令和5年6月7日(水)
- ・報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- ・議案 令和4年度事業報告について
令和4年度決算について
役員等候補者の選出について
令和5年度定時評議員会の招集について

イ 第2回理事会（みなし決議）

- ・提案日 令和5年7月1日(土)
- ・決議があったとみなされた日 令和5年7月1日(土)
- ・議案 代表理事の選定について

ウ 第3回理事会

- ・開催日 令和5年12月7日(木)
- ・報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- ・議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正についての専決処分の承認について

エ 第4回理事会

- ・開催日 令和6年3月21日(木)
- ・報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- ・議案 令和5年度収支予算の補正について
中期経営計画について
令和6年度事業計画について
令和6年度収支予算について
理事候補者の選出について
評議員会の決議の省略に係る決定について

② 評議員会

ア 定時評議員会

- ・開催日 令和5年6月29日(木)
- ・報告 令和4年度事業報告について
- ・議案 令和4年度決算について
評議員の選任について
理事の選任について

③ 監査の実施

・監査の実施 令和5年5月25日(木)

(2) 特定資産（生涯学習文化事業資産）の管理及び運用

特定資産（生涯学習文化事業資産） 2,752,324,197 円（平成6年3月31日現在）

平成5年度 特定資産運用益 28,465,953 円

平成5年度 特定資産取崩額 84,700,000 円

【 管理部門 】

≪ 公益目的事業会計 ≫

1 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業 【公1】

(1) 県民生涯学習活動の場の提供

① 遊学館施設管理運営事業（主な施設利用）

- ・ 県民健康講座（山形新聞社主催） 令和5年 5月11日（木） 300名
- ・ 山形学フォーラム 6月 24日（土） 287名
- ・ サマーコンサート（ピアノ・ヴァイオリン・マリンバ演奏） 7月 2日（日） 400名
- ・ 山形オペラ協会 本公演 7月 8日（土）～9日（日） 510名
- ・ 大神雄子氏 FIBA 殿堂入り記念講演会 9月 11日（月） 300名
- ・ ダンスファミリーロータス発表会 10月 1日（日） 350名
- ・ 落語 各公演会（どんぶり亭・噺館 主催）
5月 23日 300名／6月 13日 300名／9月 8日 300名／9月 26日 330名／10月 20日 290名
- ・ ヨシダナギ珍トークショー 令和6年 1月 6日（土） 320名
- ・ 県警特殊詐欺被害防止啓発動画試写会 2月 3日（土） 300名

② 施設利用促進事業

ア 洗心庵

a 「庭園と抹茶を楽しむ会」「お点前体験会」の開催

抹茶を味わい、洗心庵庭園の風情を楽しんでもらう。また、自ら点てたお茶を味わい、日本文化を体感してもらう。（4回開催）

- ・ 【 呈茶 】 5月 27日（土） 30名 400円 / 11月 3日（金） 40名 400円
- ・ 【お点前体験・茶会】 6月 11日（日） 15名 1,000円 / 11月 12日（日） 24名 500円

b 第10回洗心庵写真コンテスト

- ・ 募集期間 令和5年 11月 1日（水）～令和6年 1月 31日（水）
- ・ 審査会 令和6年 2月 14日（水）に入賞者を決定
一般の部 応募総数 24点 入賞 8点（最優秀賞 1点、優秀賞 1点、入選 6点）
U-18の部 応募総数 68点 入賞 10点（最優秀賞 1点、優秀賞 1点、入選 8点）
- ・ 表彰式/作品展 令和6年 3月 16日（土）/3月 19日（火）～31日（日）

イ 4施設連携事業

複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、山形県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」があるエリアは、明治初期に初代県令三島通庸が新しいまちづくりを目指して整備が行われた「歴史文化ゾーン」であることから、その名に相応しい魅力を連携して発信し、利用を促進していく。

a 講演会 「最上義光の近世山形城と城下町建設について ～三島県令による県都造営の変貌を含めて～」

- ・ 開催日時 令和5年 11月 18日（土） 13:30～15:30
- ・ 講師 保角 里志 氏
- ・ 場所 遊学館 3階 第1研修室
- ・ 参加者 83名

- b-1 企画展示 最上時代の城下と明治の県都山形展
- ・ 展示期間 令和5年11月3日（金）～26日（日）
 - ・ 場 所 遊学館1階 県立図書館エントランス付近

- b-2 企画展示 山形城展
- ・ 展示期間 令和5年11月7日（火）～19日（日）
 - ・ 場 所 教育資料館1階

- c スタンプラリー
- ・ 開催期間 令和5年11月3日（金）～26日（日）
 - ・ 特 典 スタンプ5つで先着100名に参加記念品（オリジナルクリアファイル）及び抽選等によりプレゼント

施設名	プレゼント内容	プレゼント数
文翔館	仲道郁代ピアノ・リサイタル ペア入場券	5組
	文翔館オリジナルグッズセット	20名
遊学館	遊学館ボックス	20名
	ILBUL 遊学館食事券（千円券）	10名
洗心庵	ポストカードセット	15名
教育資料館	オリジナル缶バッジとクリアファイルのセット	20名

- d やまがた伝統文化フェスタ
- ・ 開催期間 令和5年11月26日（日）
 - ・ 場 所 文翔館、遊学館、洗心庵

<< 収益目的事業 >>

2 遊学館施設等の一部維持、管理及び貸与に関する事業 【収1】

(1) 遊学館・生涯学習センター（霞城セントラル）施設管理運営事業

- ① 生涯学習センター、男女共同参画センター施設の公益目的以外の貸与
- ② 県立図書館施設の維持、管理に関する事業
- ③ 生涯学習センター（霞城セントラル）施設の維持管理事業

(2) 洗心庵施設管理運営事業

分館「洗心庵」施設の公益目的外の貸与

4 各部門における施設の利用状況(令和5年度)

1 遊学館

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの変更に伴い、館内の感染拡大防止策を平時体制に切り替え、その都度、規制措置の緩和・見直しを図った。遊学館では館内施設が連携を密にしており、アフターコロナ対策においても関係施設間でその都度、協議・報告を行っており、利用者数の増大に繋がった。

(1) 遊学館全体（山形県立図書館を含む）

延べ 310,289 人（前年度 275,918 人）が利用した。開館日数は 321 日（前年度 320 日）、1 日平均では 985 人で、開館以来の入館・利用者数累計は 9,627,729 人である。

(2) 山形県生涯学習センター

延べ 40,837 人（前年度 31,771 人）が利用した。1 日平均では 127 人で、開館以来の利用者数の累計は 1,492,507 人である。

(3) 山形県男女共同参画センター「チェリア」

延べ 7,472 人（前年度 6,565 人）が利用した。1 日平均では 23 人で、開館以来の利用者数累計は 374,474 人である。

2 山形県緑町庭園学習文化施設「洗心庵」

延べ 10,921 人（前年度 9,853 人）が利用した。開園日数は 297 日（前年度 295 日）、1 日平均では 37 人で、開園以来の入館・利用者数累計は 121,596 人である。

3 山形県郷土館「文翔館」

延べ 151,234 人（前年度 117,311 人）が利用した。開館日数は 336 日（前年度 336 日）、1 日平均では 450 人で、開館以来の入館・利用者数累計は 4,127,768 人である。（令和 5 年 5 月、来館者 400 万人達成）

4 山形県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」

延べ 531,697 人（前年度 473,853 人）が利用した。開館日数は 299 日、1 日平均では 1,778 人で、開館以来の入館・利用者数累計は、1,586,388 人である。（「文化機能」のみの数字であり「魅力発信モール」は含まない）

遊学館

生涯学習センター 利用者数(令和3年度～令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和3年度	貸館事業	1,171	963	1,663	2,078	1,091	1,555	1,974	2,745	2,185	872	919	2,376	19,592
	自主事業	17	29	166	92	37	109	94	169	59	4	35	114	925
	視察見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習相談	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4
	計	1,188	992	1,829	2,170	1,129	1,665	2,070	2,914	2,244	876	954	2,490	20,521
令和4年度	貸館事業	2,018	2,247	2,133	3,622	2,306	2,415	3,288	2,396	2,828	1,152	2,913	2,927	30,245
	自主事業	80	192	284	110	68	76	87	200	105	61	160	101	1,524
	視察見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習相談	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	計	2,099	2,439	2,417	3,732	2,374	2,492	3,375	2,596	2,933	1,213	3,073	3,028	31,771
令和5年度	貸館事業	2,718	3,622	2,823	3,876	2,408	4,241	3,309	4,519	3,098	2,177	3,065	3,161	39,017
	自主事業	67	165	411	144	95	96	106	211	193	59	93	178	1,818
	視察見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習相談	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	2,787	3,787	3,234	4,020	2,503	4,337	3,415	4,730	3,291	2,236	3,158	3,339	40,837

男女共同参画センター 利用者数(令和3年度～令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和3年度	貸館事業	107	162	521	99	127	403	814	383	150	108	62	124	3,060
	図書コーナー	260	267	244	283	270	257	312	258	265	181	188	257	3,042
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	10	15	11	15	10	15	13	13	12	10	13	11	148
	計	377	444	776	397	407	675	1,139	654	427	299	263	392	6,250
令和4年度	貸館事業	131	156	275	243	152	225	1,151	596	203	138	171	219	3,660
	交流コーナー	267	199	212	247	278	293	205	256	186	204	184	205	2,736
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	15	15	17	14	12	15	13	13	11	16	10	18	169
	計	413	370	504	504	442	533	1,369	865	400	358	365	442	6,565
令和5年度	貸館事業	170	224	447	243	216	326	1,763	672	238	200	239	213	4,951
	交流コーナー	179	196	200	205	176	188	216	211	195	191	181	219	2,357
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	15	14	13	16	12	14	14	11	16	15	7	17	164
	計	364	434	660	464	404	528	1,993	894	449	406	427	449	7,472

遊学館 利用者数(令和3年度～令和5年度)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	稼働日数	利用者数	稼働日数	利用者数	稼働日数	利用者数
図 書 館	314	212,545	309	237,582	314	261,980
生涯学習センター	320	20,521	320	31,771	321	40,837
男女共同参画センター	320	6,250	320	6,565	321	7,472
計		239,316		275,918		310,289

生涯学習センター及び男女共同参画センター利用状況(稼働率)(令和5年度)

	ホール	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	第5研修室	第6研修室	和室研修室	学習室	託児室
利用日数(日)	165	192	165	173	215	206	244	138	137	85
稼働率(%)	52.7	59.8	51.4	53.9	67.0	64.2	76.0	43.0	42.7	26.5

山形県緑町庭園学習文化施設「洗心庵」 利用者数(令和3年度～令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和3年度	一般入場	305	659	666	674	617	712	866	1,594	594	447	368	451	7,953
	施設利用	257	354	390	465	403	448	454	791	406	289	224	258	4,739
	計	562	1,013	1,056	1,139	1,020	1,160	1,320	2,385	1,000	736	592	709	12,692
	利用件数	(32)	(43)	(49)	(52)	(50)	(51)	(54)	(67)	(42)	(38)	(33)	(35)	(546)
令和4年度	一般入場	641	930	317	202	223	203	550	1,091	165	191	180	483	5,176
	施設利用	294	434	418	423	306	304	900	449	283	269	307	290	4,677
	計	935	1,364	735	625	529	507	1,450	1,540	448	460	487	773	9,853
	利用件数	(44)	(48)	(49)	(52)	(38)	(39)	(51)	(46)	(36)	(34)	(37)	(40)	(514)
令和5年度	一般入場	531	647	379	320	346	393	817	1,343	246	201	229	430	5,882
	施設利用	333	394	435	396	287	390	1,023	606	288	278	283	326	5,039
	計	864	1,041	814	716	633	783	1,840	1,949	534	479	512	756	10,921
	利用件数	(47)	(47)	(48)	(47)	(39)	(44)	(46)	(57)	(37)	(33)	(33)	(41)	(519)

文翔館 利用者数(令和3年度～令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和3年度	一般入場	1,227	6,276	4,832	6,282	7,468	6,700	10,173	9,747	4,512	4,370	3,695	7,044	72,326
	施設利用	382	623	536	1,279	526	976	1,570	1,239	1,412	343	729	1,016	10,631
	計	1,609	6,899	5,368	7,561	7,994	7,676	11,743	10,986	5,924	4,713	4,424	8,060	82,957
令和4年度	一般入場	7,111	9,018	8,600	7,136	10,101	10,608	10,692	10,152	5,185	4,478	6,444	9,410	98,935
	施設利用	462	972	1,023	1,421	660	4,690	1,941	1,901	2,248	859	914	1,285	18,376
	計	7,573	9,990	9,623	8,557	10,761	15,298	12,633	12,053	7,433	5,337	7,358	10,695	117,311
令和5年度	一般入場	8,495	13,001	10,972	9,503	20,386	13,824	14,965	14,179	6,917	7,007	10,709	10,572	140,530
	施設利用	1,122	1,940	1,150	6	0	0	7	1,745	1,629	371	985	1,749	10,704
	計	9,617	14,941	12,122	9,509	20,386	13,824	14,972	15,924	8,546	7,378	11,694	12,321	151,234

文翔館利用状況(稼働率)(令和5年度)

開館日数計	336日	第1会議室	第2会議室	第1ギャラリー	第2ギャラリー	第3ギャラリー	第4ギャラリー	第5ギャラリー	第6ギャラリー	第7ギャラリー	第8ギャラリー	ホール	中庭
利用日数(日)		164	184	94	54	56	44	169	187	178	155	120	0
稼働率(%)		48.8	54.8	28.0	16.1	16.7	13.1	50.3	55.7	53.0	46.1	54.1	0.0

5 生涯学習センター建設経緯及び施設の概要

(1) 名 称 山形県生涯学習センター

(2) 所 在 地 山形県山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内（県立図書館と併設）

(3) 遊学館の建設の特徴

① 遊学館の建っているところは、明治12年（1879年）初代県令三島通庸が造った千歳園の一部をなし、その後は知事公舎・公館が建てられた由緒ある土地である。

② 敷地面積9,998㎡のうち、建設面積は4,820㎡と約半分を占め、残りは庭園と緑道等となっている。

③ 建物は地上3階、地下2階、延べ床面積は11,726㎡。

高さをおさえ、横幅に伸びのある安定した親しみやすいシルエットを見せ、淡紫紅色系の磁器質タイルモザイクの外壁面は、四季の色でそれぞれに調和する。

外壁面には花崗岩材でがっしり縁取りされた大きな窓があり、陽光がふんだんに射し入り、深い軒を張り出す銅板ぶきの大屋根は東北一といわれている。

④ 館敷地外週に幅2mの緑道をめぐらし、そこに特注の黄褐色系のインターロッキングブロックを敷き、パーゴラを設けたり、道路中央に植樹したりして、緑間を縫う散策が楽しめるよう配慮している。

⑤ 庭園は、往時の趣を生かすため、ほとんどの樹木は移植し、池は『往時の池』の名残をとどめている。

その池畔には山野草を配するなど、庭園全体として自然な野性的な雰囲気醸している。さらに、西北側は芝草を張って樹陰読書も楽しめるよう配慮している。

⑥ 館の内部は開放的でのびやかな環境づくりに努め、各階いたるところにロビーを配し、交流がなされるよう配慮している。

また、館内を飾る美術工芸品は、郷土出身のすぐれた作家の作品を中心に、文化的な環境を創出している。

⑦ 来館された人々が、和やかで、ゆったりとした雰囲気の中で交流が図られるように、3階までの吹き抜け構造にしている。

(4) 「縣人文庫」の開設について

山形県の四方は山に囲まれ、雪が多く積ります。私達の先人は、この「雪と峠」とたたかい、今日の山形を築きました。また、そのことが実直、勤勉、思索型の県民性をつくったとも言われております。しかし、こうした自然的・地理的条件を克服し、自らの努力によって中央の各界で活躍した先人は決して少なくありません。明治期以降、全国を活躍の分野とした多くの人材が、古里とのかかわりで何を考え、どのように生きたか、それぞれの人間形成の過程を学んでいただくため、展示室が開設されました。

令和2年2月、県立図書館のリニューアルに合わせて、書架の間に展示ケースを組み込み、周遊しながらご覧いただけるよう、生まれ変わりました。（図書館施設）

〔縣人文庫展示者〕

- ・安 達 峰一郎
（明治2～昭和9）山辺町
外交官、国際法学者、国際司法裁判所長
- ・阿 部 次 郎
（明治16～昭和34）酒田市 旧松山町
哲学者、美学者、評論家
- ・池 田 成 彬
（慶応3～昭和25）米沢市
銀行家、三井財閥の指導者
- ・伊 藤 忠 太
（慶応3～昭和29）米沢市
建築史家、建築家、文化勲章受章、
文化功労者
- ・大 熊 信 行
（明治26～昭和52）米沢市
経済学者、評論家、歌人
- ・小 倉 金之助
（明治18～昭和37）酒田市
数学者、数学教育学者
- ・折 下 吉 延
（明治14～昭和41）新庄市
造園家
- ・日下部 四郎太
（明治8～大正13）山形市
物理学者、
- ・小 松 均
（明治35～平成元）大石田町
日本画家、文化功労者
- ・斎 藤 茂 吉
（明治15～昭和28）上山市
歌人、医師、文化勲章受章、文化功労者
- ・相 良 守 峯
（明治28～平成元）鶴岡市
ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威
文化功労者、文化勲章受章
- ・新 海 竹太郎
（慶応4～昭和2）山形市
彫刻家
- ・高 橋 里 美
（明治19～昭和39）米沢市
哲学者、文化功労者
- ・高 山 樗 牛
（明治4～明治35）鶴岡市
文学者、評論家
- ・新 関 良 三
（明治22～昭和54）河北町
演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者
- ・浜 田 広 介
（明治26～昭和48）高畠町
童話作家
- ・平 田 東 助
（嘉永2～大正14）米沢市
政治家、産業組合運動の指導者、右大臣、伯爵
- ・平 塚 英 吉
（明治21～昭和59）新庄市
農芸化学者、文化功労者
- ・堀 米 庸 三
（大正2～昭和50）河北町
西洋史学者、
- ・本 間 久 雄
（明治19～昭和56）米沢市
文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家
- ・結 城 豊太郎
（明治10～昭和26）南陽市
銀行家、財政家
- ・我 妻 栄
（明治30～昭和48）米沢市
法律学者、文化功労者、文化勲章受章

（五十音順）

(5) 建設概要

敷地面積	9,998 m ² （知事公舎、知事公舎移転跡地）
建設延面積	11,933 m ² （生涯学習センター4,040 m ² 、県立図書館 7,282 m ² 、男女共同参画センター611 m ² ）
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階地下2階
総工費	約62億円（当初）、大規模改修工事11.6億円

(6) 施設の概要（R6.4.1 現在）

研修会場	収容人数	主な備品・装置等	主な利用内容
ホール （2 F）	324 人	固定イス・ステージ・スクリーン設備等・音響・照明装置・同時通訳装置・映写装置	芸術・文化実演・講演・映写・シンポジウム等
第1研修室 （3 F）	105 人	3人用机・イス・白板・演題・プロジェクター機・スライド投影機（2スクリーン）暗幕・放送用施設等・映写装置・ホール中継システム等	講演・講義・映写等
第2研修室 （3 F）	54 人	3人用机・イス・白板・スクリーン設備等	講演・講義等
第3研修室 （3 F）	48 人	3人用机・イス・白板・スクリーン設備等	講演・講義等
第4研修室 （3 F）	24 人	2人用机・イス・白板・スクリーン設備等	ゼミナール研修等
第5研修室 （3 F）	14 人	大型テーブル・イス	ゼミナール研修等
第6研修室 （2 F）	14 人	大型テーブル・イス	ゼミナール研修等
和室研修室 （3 F）	15 人程度	和室用テーブル・茶道用風炉等	多目的研修
ギャラリー （2 F）	約 100 m ²	展示ケース・展示パネル板等・照明装置	生涯学習関係作品の展示等

5-1 生涯学習センター分館「洗心庵」の建設経緯及び施設の概要

(1) 名 称 山形県緑町庭園文化学習施設

(2) 所在地 山形県山形市緑町一丁目4番28号

(3) 洗心庵の建設の特徴

山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」は、元(株)山形新聞社社長の故服部敬雄氏の居宅であった土地、建物について、平成17年3月に所有者から寄贈を受け、県が生涯学習センターの分館として再整備した施設である。

この庭園は、赤坂離宮和風別館やホテルニューオータニなどの庭園を作庭した日本を代表する名造園家 岩城亘太郎^{いわきせんたろう}氏が手掛けたもので、北にはアカマツ、南には和風庭園やモミとイチイなど趣を異にする庭が配置されている。また、庭園には、古くは室町時代作とされる石仏などがあり、いつとき、歴史の世界にいざなってくれる。

庭園鑑賞に加え、展覧会、演奏会等の文化芸術活動、生涯学習活動の拠点として利用されるよう整備された。

(4) 建設概要

施工：平成24年8月、開館：平成25年7月16日

敷地面積	2,193.93 m ²
延床面積	240.00 m ²
建物構造	木造平屋建、地上1階
総工費	約1.7億円

(5) 施設の概要

研修会場	収容人数	主な備品・装置等	主な利用内容
多目的ホール	50人	3人用机・イス・白板・スクリーン・プロジェクター	多目的研修
和室研修室	八畳1室	水屋	茶会

Ⅲ 生涯学習部門

(山形県生涯学習センター)

Ⅲ 生涯学習部門 (山形県生涯学習センター)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023)625 - 6411

F A X (023)625 - 6415

1 概 要

(1) 設置目的（平成2年7月28日開所）

県民の生涯にわたる自主的な学習活動を総合的に支援、助長し、県民一人ひとりの心豊かな生活の創造と地域社会の振興並びに地域の活性化を担う人材の育成を図る。

(2) 基本的機能と役割

本県の生涯学習振興の中核施設として、県民及び県内外の生涯学習関連施設とのネットワークの形成を図る基本的機能を持つとともに、

- ① 講座・研修等各種生涯学習事業の開発と実施
- ② 生涯学習振興に関する調査研究
- ③ 学習情報の整備・提供と相談
- ④ 学習者相互の交流・研鑽・発表に係る機会や場の提供と支援などの役割を担う。

(3) 運営の基本方針

- ① 関係機関と連携し、県民に親しまれる生涯学習センターの運営を図る。
- ② 地域学を推進するとともに、県民が主体的に学ぶ機会を提供する。
- ③ 学習情報の整備・充実を図り県民に提供するとともに、調査研究を行う。
- ④ 主体的な学習活動への支援を行うとともに、地域の指導者等人材の育成を図る。

(4) 主な事業項目

- ① 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業
- ② 総合的な学習情報の提供事業

2 令和6度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公1：県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業

(1) 学習情報・機会の提供

① 学習情報収集・提供事業

財団ホームページやメールマガジンを活用し、より県民ニーズに合わせた新鮮な情報を提供する。

このため、県、市町村、関係機関団体等との連携を一層強化するとともに、より幅広い情報ネットワークの構築に努める。

② 長寿社会づくり推進事業

明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進するとともに、ホームページを活用し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行う。

③ 「ふるさと塾」推進事業

県が実施する「ふるさと塾」事業の活動に関する映像や画像を記録し、インターネットを通じて公開していくことにより、将来にわたって地域文化の伝承活動の支援基盤を構築する。

④ 広報紙発行事業

センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介、生涯学習を巡るタイムリーな話題の提供などを通して、県民の生涯学習への理解が深まるよう山形県生涯学習センターの広報紙を年3回発行する。

⑤ 「山形学」推進事業

山形の特徴や特性を客観的・学際的に捉え、山形に生きることの意義や自らのアイデンティティ、地域づくりを考える学習機会として地域学である「山形学」を推進する。また、講座の学習成果を深化・拡大するため、内容を記録・編集した「遊学館ボックス」を発刊する。

⑥ 山形県地域づくり実践交流集会

地域づくりや地域学を実践している民間団体、教育機関、行政関係者などが集い、より一層充実した活動を展開するための契機となるよう、地域づくりや地域学に関する知識・手法等を多様な角度から学ぶ場として開催する。

⑦ 生涯学習支援事業

県民の学習機会を広げるとともに、地域づくりの観点から生涯学習活動の振興を図るため、各機関・団体が実施する現代的課題の解決や社会の要請に応じた生涯学習事業について助成を行う。また、青少年の地域学習や地域との協働による地域づくり活動を支援するため、本県高等学校の特別活動や課外活動に加え、地域貢献活動に取り組んでいる高校生の団体の活動に助成を行う。

ア やまがた地域創生事業

イ 青少年地域学習活動支援事業

ウ 特色ある生涯学習活動支援事業

エ 生涯学習振興大会への助成

⑧ 生涯学習活動実践団体との連携事業

自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、自己啓発や地域活性化に繋がる事業を開催する。（作家トークショーは休止する）

(2) 生涯学習活動支援者の育成

① 生涯学習関係職員研修事業

市町村生涯学習・社会教育関係職員を対象にした初任者研修を実施する。また、地域づくりのリーダーとして活躍する人材を育成するための「スキルアップセミナー」を実施する。

② 高齢者生きがいがづくり・生活支援活動人材育成等事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢者の生きがいがづくりや生活支援活動に参加する担い手を育成する講座を開催するとともに、生活支援コーディネーター等の資質向上や担当地域での活動の充実及び生活支援コーディネーター同士が互いに相談できる関係性の構築を目的とした情報交換会や研修を実施する。また、介護予防・生活支援に係る課題を抱える市町村に対し、アドバイザーを派遣し、課題解決のための伴走型支援を行う。

③ シニア地域実践活動支援事業

センター事業の養成研修に基づき登録された県内 9 地区の「山形シルバー観光ガイド」について、その資質向上を図るほか新たなガイドの養成に関する活動を支援する。

(3) 学習成果の活用【再掲】

① 山形県地域づくり実践交流集会

地域づくり活動をしている団体や個人、関心のある方が集まり、交流し学び合うことで、これからの地域づくりの未来を考える。

② 高齢者生きがいがづくり・生活支援活動人材育成等事業

県内各地域の生活支援コーディネーター同士が集まり、各地域での好事例や課題などを県全体で共有する情報交換会を開催し、県内の介護予防・生活支援に係る課題解決に向けた取組み等を考える機会とする。

(4) 県民生涯学習活動の場の提供

① 生涯学習センター、分館「洗心庵」、男女共同参画センターの指定管理業務

ア 県民が生涯学習、芸術文化及び男女共同参画を身近に感じ、その活動のために気軽に利用できる環境づくりを行う。

イ 県民の平等な利用の確保に配慮し、「利用しやすい」「また利用したい」と感じてもらえる適正な貸館業務を行う。

ウ アフター・コロナを見据えて、ニーズの高いWeb会議やテレワークに対応したICT環境を整えつつ、更新後のホール音響設備の機能向上ぶりを広く周知す

るなど施設利用のPRに一層努めるほか、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、県民生涯学習活動の拠点としての「遊学館」のネームバリューを活かした利用促進に取り組む。

② 施設利用促進事業

ア 分館「洗心庵」は擁壁工事が終了し、中の様子が覗ける造りになったことから、より多くの県民に親しんでもらえるよう呈茶事業・写真コンテストを行い、知名度向上や利用促進に努める。

イ 複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、山形県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」の4施設が連携し、学習環境に優れたエリアとしての情報を発信し、利用の促進を図っていく。

また、このエリアが「歴史文化ゾーン」と名付けられていることから、エリア内の歴史的文化的な資源を発掘、利活用しながら、「歴史文化ゾーン」の名にふさわしいストーリー性を持った魅力を発信していく。

(5) その他生涯学習推進に関する業務

生涯学習事業の企画運営に係る事業

生涯学習センターの事業推進について、県内各層から広く意見を聞き反映するための企画委員会を開催する。

3 令和5年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業 【公1】

(1) 学習情報・機会収集提供

① 学習情報収集・提供事業

情報提供システム「やまがたマナビネット」の充実を図りながら、生涯学習情報（講師・指導者、団体・グループ、施設）、講座・イベント情報、総合文化情報等をインターネットで発信。

- ・登録情報数（令和6年3月31日現在）

団体・グループ情報 290 件、 講師・指導者情報 137 件

- ・HP アクセス件数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

総ページビュー数 513,580 件、 講座・イベント情報 14,510 件

② 「ふるさと塾」推進事業

県の「子ども伝承活動 ふるさと塾」事業の活動に関する映像や画像を記録し、インターネットを通じて公開している。

③ 広報紙発行事業

生涯学習活動に対する県民の理解が一層深まるよう、広報紙「生涯学習やまがた」を年3回発行し関係機関に配布。

- ・令和5年7月発行 VOL. 28 特集「食を通じた地域の居場所づくり」～食を通じた豊かな地域づくりのこれから～
- ・令和5年11月発行 VOL. 29 特集 地域づくりを仕事にする新しい働き方、「労働者協同組合」
- ・令和6年3月発行 VOL. 30 特集「地域の魅力を再発見～多世代がつながる地域づくり」

④ 「山形学」推進事業

ア 「山形学」フォーラムの開催

- ・テーマ 「山形の歴史的成り立ち」
- ・期日 令和5年6月24日（土） 会場 遊学館ホール
- ・参加者 273 名
- ・内容 <基調講演> 「山形の歴史的成り立ち」

講師 本郷和人氏（東京大学史料編纂所教授）

<パネルディスカッション>

パネリスト 原 淳一郎氏（山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授）
今野 章氏（鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料館長補佐）
菊地和博氏（東北文教大学人間科学部特任教授）

コメンテーター 本郷和人氏

コーディネーター 松尾剛次氏（「山形学」企画委員）

イ 「山形学」講座の開催

- ・テーマ 「山形の歴史的成り立ち」
- ・受講生 54 名

・内容 第1回「庄内の歴史的成り立ち」

令和5年7月22日（土） 会場 遊学館

講師 小野寺雅昭氏(飽海地域史研究会会長)

佐藤 淳氏(公益財団法人致道博物館 学芸部 主任学芸員)

コーディネーター 小林好雄氏（「山形学」企画委員）

第2回「最上の歴史的成り立ち」

令和5年8月19日（土） 会場 遊学館

講師 伊藤和美氏(最上地域史研究会会長)

三浦和枝氏(最上地域史研究会幹事)

コーディネーター 菊地和博氏（「山形学」企画委員）

第3回「村山の歴史的成り立ち」

令和5年9月10日（日）(現地学習)

講師 長谷堂合戦ボランティアガイドの会

揚妻昭一郎氏(最上義光歴史館主幹学芸員)

コーディネーター 松尾剛次氏（「山形学」企画委員）

第4回「置賜の歴史的成り立ち」

令和5年9月30日（土）(現地学習)

講師 角屋由美子氏(米沢市上杉博物館 上杉文化研究室長・上杉神社稽照殿
学芸課長)

原淳一郎氏(山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授)

青木敏雄氏(高畠町郷土資料館館長)

まほろばの里案内人(高畠町観光協会ガイド)

コーディネーター 本田香奈子氏、中川恵氏（「山形学」企画委員）

第5回「山形の歴史的成り立ち」

令和5年10月21日（土） 会場 遊学館

講師 門松秀樹氏(東北公益文科大学教授)

松尾剛次氏(山形大学名誉教授)

コーディネーター 廣瀬隆人氏（「山形学」企画委員）

ウ 山形県地域づくり実践交流集会の開催

・テーマ 山形県地域づくり実践交流集会

「地域づくりへの提言～若者達の地域へのまなざしと行動から～」

・期日 令和5年11月4日（土） 会場 遊学館

・参加者 33名

・内容 シンポジウム

「地域づくりへの提言～若者達の地域へのまなざしと行動から～」

シンポジスト：阿部 康子 氏（前「山形学」企画委員長）

安藤 耕己 氏（山形大学地域教育文化学部教授）

石井 貴之 氏（山形県青年の家 研修主査）

コメンテーター：青木 孝弘 氏（宮城大学事業構想学群准教授）

ワークショップ 「地域づくりの未来を考える」

コーディネーター：廣瀬隆人氏（「山形学」企画委員）

エ 「遊学館ブックス」の販売（平成28年3月～）

年 度	冊数	売上金額	備 考
令和 5 年度	97 冊	106,435 円	直接販売 43 冊 委託販売 54 冊
合 計 (平成 28 年 3 月～)	1,194 冊	1,220,711 円	

⑤ 生涯学習活動支援事業

ア やまがた地域創生事業

- ・申請団体 33 件／交付決定団体 22 件 ・交付決定額 2,877 千円

イ 青少年地域学習活動支援事業

- ・申請団体 8 件／交付決定団体 8 件 ・交付決定額 394 千円

ウ 特色ある生涯学習活動支援事業

- ・山形小説家ライター講座 ・交付決定額 300 千円

エ その他

- ・生涯学習振興大会助成事業 ・交付決定額 600 千円

(2) 生涯学習活動支援者の育成

① 生涯学習関係職員研修の実施

ア パワーアップセミナーの開催（初任者研修）

- ・期日 令和 5 年 5 月 18 日（木） ・参加者 85 名
- ・内容 <講義①> 「生涯学習・社会教育とは」

～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割～

講師 安藤 耕己 氏（国立大学法人山形大学 地域教育文化学部教授）

<講 話> 「県社会教育・生涯学習行政施策概要と新任職員に期待すること」

講師 中里 秀樹 氏（山形県教育庁生涯教育・学習振興課社会教育専門員）

<講義&演習> 「社会教育のマネジメントはどうあるべきか」

～LRDCマネジメントサイクルで考えてみた！～

講師 皆川 雅仁 氏（秋田県生涯学習センター社会教育主事・秋田大学非常勤講師）

イ 地域づくり人材育成セミナーの開催

【テーマ1】「防災・減災」

- ・期日 村山会場（東根市西部防災センター） 令和 5 年 9 月 1 日（金）・参加者 11 名
庄内会場（余目第4まちづくりセンター） 令和 5 年 9 月 8 日（金）・参加者 11 名
- ・内容 <ワークショップ> 「災害時に役立つ炊き出しにチャレンジ！」

協力：高畠町赤十字奉仕団

我妻 由美子 氏（委員長）、後藤 美恵子 氏、近野 こみち 氏、

須藤 のり子 氏、武田 幾子 氏、武田 浩司 氏

東根市蟹沢赤十字奉仕団 芦野 みや子 氏（委員長）

<講義&ワークショップ> 「避難所運営ゲーム（HUG）体験」

講師 千川原公彦 氏（ウェザーハート災害福祉事務所代表）

【テーマ2】「やさしく伝える日本語」

- ・期日 最上会場（わくわく新庄）令和5年9月19日（火）・参加者7名
置賜会場（シェルターなんよう）令和5年9月20日（水）・参加者9名
- ・内容 <講義&演習>「伝えたいことを簡潔に伝えるには」

～やさしく伝える日本語を考える～

講師 岩田 一成 氏（聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科教授）

② 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

ア 入門講座【支え合いを広げる地域づくりフォーラム】

高齢者社会の現状や支え合い活動の必要性、地域住民が主体となる日常生活の様々な生活支援活動について学ぶフォーラムの開催。

- ・期日／会場／参加者

【村山】令和5年6月3日（土）さくらんぼタントクルセンター（東根市）・オンライン
参加者 会場 43名、 オンライン 27名

【庄内】令和5年6月4日（日）子育て交流施設テオトル（三川町）
参加者 会場 28名

- ・講師 服部 真治 氏（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長兼研究部主席研究員）
中村美那子 氏（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部専門職員）
伊藤 孝子 氏（まちなえと神町代表）

イ 実践講座【支え合いの地域づくり担い手養成講座】

高齢者の生きがいづくりや生活支援の活動拠点において、活動を実施するための運営能力や新たな活動の企画立案能力を醸成する実践講座の開催。

- ・開催時期 7月～10月／5回の連続講座
- ・会場 さくらんぼタントクルセンター（東根市）ほか現地研修先
- ・参加者 会場 16名
- ・内容 第1回「生きがいや支え合いを育む現場に学ぼう！」【現地研修】
8月3日（木）
第2回「暮らしの課題を把握する手法を学ぼう！」【座学】
8月22日（火）
第3回「課題に取り組むアクションプランを考えよう！」【座学】
8月31日（木）
第4回「実際に居場所や生活支援活動をしてみよう！」【トライアル】
9月24日（日）・10月2日（月）・10月11日（水）
第5回「活動の振り返りと次のアクションにむけて」【座学】
10月18日（水）
- ・講師 堀川 敬子 氏（「逢いの蔵」共同代表）

ウ 生活支援活動ステップアップ講座

高齢者の生きがいづくりや生活支援活動の活動拠点において、特にニーズの高い移

動支援と有償ボランティアの仕組みづくりについて、安心安全な活動実施に必要な知識や技術の向上を図るステップアップ講座を開催した。

【移動支援：庄内】令和5年11月16日（木）酒田市地域福祉センター（酒田市）

参加者 会場 21名

【移動支援：村山】令和5年11月17日（金）まなびあテラス（東根市）・オンライン

参加者 会場 16名 オンライン 42名

※講師（両会場共通）：本間博氏 やまがた福祉移動サービスネットワーク代表

事例提供：日向唯氏（庄内町保健福祉課高齢者支援係）

志田恵梨子氏（庄内町地域包括支援センターSC）

梅木強氏（はっぴいサポート代表）

高橋逸夫氏（和合の里を創る会支配人）

【有償ボラ：置賜】令和5年11月21日（火）伝国の杜（米沢市）

参加者 会場 18名

【有償ボラ：村山】令和5年11月22日（水）遊学館（山形市）・オンライン

参加者 会場 12名 オンライン 25名

※講師（両会場共通）：渡邊典子氏（特定非営利活動法人ほっとあい副理事長）

加藤由紀子氏（特定非営利活動法人ふれあい天童代表理事）

エ フォローアップ研修会

高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業実践講座等の受講生が、活動等を始める際の課題や実際の活動等で生じている課題について、情報の共有や整理、解決策等の検討を行い、今後の活動の推進や向上に資するために開催。

・期日／会場

令和6年3月7日（木） 遊学館（山形市）・オンライン

参加者 会場 12名 オンライン 72名

・事例提供：渡邊典子氏（特定非営利活動法人ほっとあい副理事長）

高橋久史氏（鶴岡市大山自治会事務局長）

山田匡章氏（尾花沢市社会福祉協議会事務局長）

オ マッチング研修会

地域福祉関係者が地域でつながりをつくるための技術や手法、心構え等を講義や事例紹介、グループワーク等で実践的に学ぶ研修会を開催。

・期日／会場／参加者

令和5年12月7日（木）・8日（金）遊学館（山形市）参加者 19名

・講師 廣瀬隆人氏

（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

事例提供 小川真実氏（合同会社望見若者の居場所ころいき相談員）

協力団体 NPO 法人ふれあい天童・逢いの蔵・どんぐりの木

カ アドバイザー派遣による伴走型支援事業

介護予防・生活支援に係る課題を抱える市町村に対し、各市町村の課題に応じたアドバイザーを派遣することにより伴走型支援を行う。今年度は長井市及び尾花沢市にアドバイザーを派遣した。また、昨年度支援を行った大石田町へフォローアップ支

援を行う。

【長井市】

第1回 令和5年7月18日（火） 長井市役所2階市民防災研修室

第2回 令和5年8月24日（木） 長井市役所2階市民防災研修室

第3回 令和5年10月4日（水） ふれあい天童（の～んびり茶の間）

- ・アドバイザー 加藤 由紀子 氏（特定非営利活動法人ふれあい天童代表理事）

【尾花沢市】

第1回 令和5年7月19日（水） 老人福祉センター東光館（尾花沢市）

第2回 令和5年10月5日（木） 老人福祉センター東光館（尾花沢市）

第3回 令和5年11月20日（月） 老人福祉センター東光館（尾花沢市）

- ・アドバイザー 高橋由和 氏（特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク事務局長）

【大石田町】※フォローアップ支援

令和6年1月12日（金） 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」

- ・アドバイザー 高橋由和 氏（特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク事務局長）

③ シニア地域実践活動の支援

県内9地区で活動している「シルバー観光ガイド」への助成

- ・県内9区（申請団体6地区）
- ・担当者会議はオンラインで3月1日開催予定。

(3) その他、生涯学習推進に関する業務

① 令和5年度北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

- ・期日 令和6年1月25日（木）～26日（金）遊学館、文翔館
- ・出席者 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構役職員、一般財団法人長寿社会開発センター職員、山形県社会福祉協議会担当職員 17名
- ・内容 （1日目）協議・情報交換・重点事業説明（11テーマ）
（2日目）施設見学（文翔館／ボランティアガイドの案内）

※本協議会は、北海道・東北ブロック（7道県）が毎年持ち回りで開催。5年度は山形県が開催県。

② 生涯学習事業の企画運営に関する業務

生涯学習センターの事業推進について、県民各層から広く意見を聞き反映するための企画委員会を開催した。

- ・期日／会場：令和6年3月5日（火）／遊学館
- ・出席者：委員8名（うちオンライン参加者3名）
- ・内容：令和5年度山形県生涯学習センター事業報告
令和6年度山形県生涯学習センター事業計画
山形県生涯学習センターに期待すること

IV 文 化 振 興 部 門

(山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館)

Ⅳ 文 化 振 興 部 門

(山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館)

【山形県郷土館「文翔館」】

〒990-0047

山形市旅籠町三丁目4番51号

T E L (023)635-5500

F A X (023)635-5501

【山形県総合文化芸術館】

〒990-0828

山形市双葉町一丁目2番38号

T E L (023)664-2220

F A X (023)664-2209

1 概 要

(1) 山形県郷土館「文翔館」

① 設置目的

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を保存し、公開することにより、県民の郷土への理解に資するとともに、本県文化の振興を図る。また、県政史緑地を多くの方が集い会う広場として開放する。

② 基本的機能と役割

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を保存・公開を行うほか、本県文化振興の拠点として、ホール、ギャラリー等の機能や美しく優雅な景観を活用し、芸術文化鑑賞機会の提供、文化活動の活性化を図る。加えて、県内各地における芸術文化活動を一層推進するための拠点施設としての役割を担う。

③ 運営の基本計画

ア ガイドボランティアなどの協力を得ながら、重要な文化遺産として保存しつつ広く公開し、県民の郷土への理解促進に資する。

イ 県民文化活動の場として、ホール、ギャラリー、会議室等を広く県民に提供する。

ウ 文化力の向上を目指す多様な芸術文化事業を実施し、文化活動の拠点施設としての機能を強化する。

④ 主な事業項目

ア 重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」の保存・公開

イ 郷土に関する歴史文化資料の展示及び整備

ウ 新たな県民文化の創造に向けた事業

エ 芸術文化に触れる機会の拡充のための事業

オ 文化振興拠点としての文翔館活性化事業

(2) 山形県総合文化芸術館

① 設置目的

山形県総合文化芸術館は、県内最大の収容力を有する大ホールや県産品を取り扱うショップ等を有する複合文化施設であり（「文化機能」と「魅力発信モール」）、本県の文化芸術活動の拠点、多様な交流及び本県の魅力の発信拠点として、地域活性化に資する。

② 基本的機能と役割

総合文化芸術館（文化機能）については、新たな本県文化振興の拠点として、2001席という東北屈指の大ホール、スタジオ、練習室等が整備され、芸術文化鑑賞機会の提供、県民の文化活動の活性化を図るとともに、県内各地における芸術文化活動施設と連携を図り、本県の拠点施設としての役割を担う。

③ 運営の基本計画

ア 総合文化芸術館（文化機能）の運営については、当財団と公益社団法人山形交響楽協会、サントリーパブリシティサービス株式会社の3団体で構成する共同事業体「みんぐるやまがた」が指定管理者として行う。

イ 当財団が共同事業体の代表団体を担うこととし、県内文化団体や芸術活動グループなどの育成を図る観点から同館の活用を促進するために広報・PR活動を行う。

ウ 主催公演事業やアマチュア団体の公演等の機会を設定し、県民の文化意識の高揚を図る。

④ 主な業務項目

ア 総合文化芸術館の施設及び設備の維持管理に関する業務

イ 総合文化芸術館の文化機能の運営に関する業務

ウ 総合文化芸術館の施設及び設備の使用許可等に関する業務

エ 総合文化芸術館のオープニング事業に関する業務等

2 令和6年度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公2：県民の文化振興に関する事業

(1) 施設の保存・公開と県民の郷土への理解促進

① 郷土館管理運営事業

県郷土館及び県政史緑地について、常に良好な状態を保つよう施設及び収蔵品の保存管理、施設及び設備の維持管理、並びに常設展示等の管理を細心の注意を払って適切に行う。

② 文翔館街なか賑わい推進事業

地域で取り組んでいる街なか賑わいフェスティバルと連携して事業を実施するとともに、他団体等が主催するイベントを積極的に受け入れることなどにより、中心市街地の賑わいづくりを促進し、来館者の増加を図る。

③ 文翔館企画展

文翔館が所蔵する貴重な資料を広く県民に紹介するとともに、文翔館や郷土にまつわるテーマに基づく企画展を開催し、県民の郷土への理解促進を図る。

(2) 県民文化活動の場の提供

① 郷土館管理運営事業【再掲】

県民の文化活動の場として広く親しまれ活用されるよう、適正に貸館運営業務を行うとともに、文化団体・施設等との連携により中心市街地の文化芸術活動の促進を図る。

また、施設の利用促進を図るため、文翔館主催事業で活用するなど文翔館の活性化を推進する。

② 県総合文化芸術館運営事業

県総合文化芸術館（やまぎん県民ホール）の利用率向上のため、一般県民や県内文化芸術団体等に対して広報・PR活動を積極的に行うとともに、県内の公立文化施設の人材育成、資質の向上を図るための研修会の開催や情報の提供を行う。

(3) 文化力の向上を目指す芸術文化事業の実施

① 文翔館芸術劇場

文翔館議場ホールを会場に、クラシック音楽等の公演を実施し、芸術文化の鑑賞機会の拡充を図る。

② 文翔館創作劇場

文翔館議場ホール等を舞台に、県人による創作公演を県芸術文化協会との連携により実施し、芸術文化団体等の創作意欲の高揚と人材の育成を図る。

③ 芸術文化鑑賞普及事業

プロオーケストラと県内中高校生・アマチュア音楽団体との共演によるコンサート等を山形交響楽団の協力を得ながら実施し、芸術文化に触れる機会を創出する。

(4) 県民文化活動の拠点施設としての機能強化

文化活動の拠点施設としての機能強化を図るため、次の事業を実施するとともに、文翔館及び県政史緑地を使用して行う本県青少年の文化活動に対し、「山形県郷土館管理要綱」に基づき使

用料の減免を行い支援する。

① 文化団体等連携支援事業

本県の文化水準の維持向上を図るため、本県文化の基盤を支えている県内の中核的な文化施設や芸術文化団体の活動並びに県民芸術祭の開催に対し、県と連携して支援する。

② 新アート・サポート事業

県民の文化活動活性化のため、県内文化団体が実施する先進的・創造的・モデル的な発表事業や、今後の文化の担い手となり得る若者（概ね40歳未満）の人材育成を目的とした発表事業等に対し支援する。

③ 文翔館文化活動支援事業

県民の文化活動機会の拡充を図るため、個人・団体が行う文翔館ギャラリーを活用した初期段階の発表事業に対し支援する。

《 収益事業等会計 》

収2：文翔館施設の一部維持・管理及び貸与に関する事業

(1) 文翔館施設管理運営事業

県民に広く親しまれ活用されるよう、適正な貸館運営業務を行う。

(2) 文翔館啓発用グッズ販売事業

本県のランドマークである文翔館を広く県内外に周知し、来館者の増加につなげるため、文翔館啓発用グッズを製作し販売する。

(3) 文翔館ウエディングフォト活用事業

「婚礼前撮り写真」撮影を文翔館で行っている業者の広告をHPに掲載し、結婚に向けた気運の醸成、ウエディングフォト撮影の増を図る。

(4) スタインウェイを弾いてみよう 2024 事業

有料化及び実施回数の拡大を図ることにより、参加機会の増加及び収入増を目指す。

3 令和5年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 県民の文化振興【公2】

(1) 施設の保存・公開と県民の郷土への理解促進

① 施設の管理（文翔館）

ア 一般入館者数とガイドボランティアによる案内状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：人)

年 度	一般入館者数 (施設利用者を除く)	案 内 者 数				案内比率 (%)
		県内	県外	外国	計	
令和5年度	140,530	2,156	10,516	193	12,865	9.2
令和4年度	98,935	1,152	2,854	93	4,099	4.1
令和3年度	72,326	4	154	1	159	0.2

※新型コロナ感染拡大防止のため、ガイドボランティアによる案内活動は、令和3年度は、12月16日～1月14日のみ行い、令和4年度は、7月5日から再開している。

イ ガイドボランティア第8期生養成講座の実施

- ・申込者15名、受講者15名、登録者14名
- ・養成講座 令和5年11月5日（日）～令和6年2月10日（土） 7回実施
- ・インターンシップ 令和6年3月1日（金）～3月31日（日）
期間中1人2回以上参加 参加者 14名

ウ 文翔館時計塔内部見学会（「時の記念日」）

- ・実施日 令和5年6月10日（土）
内容 ・時計塔見学会 参加者 17名

エ 文翔館の日記念事業

- ・実施日 令和5年10月14日（土）
内容 ・文翔館時計塔内部見学会 参加者 20名
・紅花ハーバリウム作り 参加者 30名
・文翔館ハロウィンナイト
参加者 49組(子ども95名 保護者88名 計183名)
・東北芸術工科大学実習生によるワークショップ 参加者 42名
・やまがた秋の芸術祭
マーチングバンド・吹奏楽の演奏
出演 山形市立滝山小学校・千歳小学校・県立中央高等学校・
東北文教大学山形城北高等学校
・明治安田生命健活ブース（血管年齢・ベジチェック）
・文翔館クイズラリー 令和5年9月21日（木）～10月14日（土）
参加者 250名

オ ライトアップ等の運営

- ・ブルーライトアップ(世界自閉症啓発デー) 令和5年4月2日(日)～4月8日(土)
- ・ゴールデンウィークライトアップ 令和5年5月3日(水)～5月7日(日)
- ・受動喫煙防止ライトアップ 令和5年5月31日(水)～6月6日(火)
- ・社会を明るくする運動 令和5年7月6日(木)～7月13日(木)
- ・ホワイトライトアップ(花笠まつり開館時間延長) 令和5年8月4日(金)～15日(火)
- ・オレンジライトアップ(アルツハイマー月間) 令和5年9月20日(水)～25日(月)
- ・ピンクリボンライトアップ(ピンクリボン運動) 令和5年10月1日(日)～10月10日(火)
- ・世界糖尿病予防デーブルーライトアップ 令和5年11月14日(火)
- ・DV防止パープルライトアップ 令和5年11月15日(水)～11月24日(金)
- ・クリスマスグリーンライトアップ 令和5年12月20日(水)～12月25日(月)
- ・大晦日、新年ライトアップ 令和5年12月31日(日)～令和6年1月2日(火)
- ・緑内障グリーンライトアップ 令和6年3月10日(日)、12日(火)～3月16日(土)

カ 文翔館来館者400万人達成記念式典セレモニー

- ・実施日 令和5年5月28日(日)
- ・400万人目来館者 青森県からの御夫婦ら3人
- ・記念看板の除幕及び花束、記念品贈呈

キ QRコードによる外国語案内

- ・外国人観光客向けに、展示室の案内板及び案内パンフレットのQRコードをスマホで読み取ることにより、外国語(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語)による案内(文字情報等)を開始(12月から)

ク 情報の発信

- ・広報紙「文翔館」の発行 VOL.60 令和6年3月発行 2,300部
- ・フェイスブック等の運用
フェイスブック等のSNSを活用して、文翔館の旬の情報を発信
3月31日現在 フェイスブック:95回、インスタグラム:64回、
X(旧ツイッター):313回

② 施設の管理(総合文化芸術館)

ア みんなでやまがた運営委員会の開催

- 令和5年4月14日(金)
令和4年度事業報告案及び決算見込みの審議を行った。
- 令和5年7月21日(金)
令和5年度事業の中間報告(4～6月)に関して審議を行った。
- 令和5年10月17日(火)
令和5年度事業の中間報告(7～9月)に関して審議を行った。
併せて、次期指定管理(令和7年度～)の応募に向けて協議を行った。
- 令和6年2月9日(金)
令和5年度事業の中間報告(10～12月)に関して審議を行った。
併せて、次期指定管理(令和7年度～)の応募に向けて協議を行った。

- イ フジコ・ヘミング&山形交響楽団スペシャルコンサート 令和5年4月26日(水)
主催 みんなぐるやまがた(山形交響楽団共催事業)
内容 日本を代表するピアニストのフジコ・ヘミングを招いて、山形交響楽団とコンサートを開催。 入場者 1,700名
- ウ やまぎん県民ホールまるわかりガイドツアー&緞帳見学会 令和5年5月21日(金)
主催 みんなぐるやまがた
内容 開館から継続して5回目の開催。オリエンタルカーペット社と協働し、緞帳製作にまつわる裏話等を披露。 参加者 125名
- エ やまがたジャズフェスティバル 2023 令和5年10月14日(土)～15日(日)
主催 みんなぐるやまがた(テレビユー山形、エフエム山形との共催事業)
内容 開館後初となる本格的な屋外音楽フェスティバルを開催。参加者 1,184名
(2日間の合計)
- オ 全国共同制作オペラ J・シュトラウスⅡ世喜歌劇『こうもり』 令和5年12月17日(日)
主催 みんなぐるやまがた(山形新聞・山形放送 共同主催事業)
内容 オペラの共同制作プロジェクトに初めて参加し、やまぎん県民ホールとして、初の開催。(共同制作館:びわ湖ホール、東京芸術劇場) 参加者 1,619名
- カ やまがたストリートダンスの日 2024 令和6年2月24日(土)
主催 みんなぐるやまがた(やまがたストリートダンスの日 2024 実行委員会 共同主催事業)
内容 2021年に実施した県民参加型ストリートダンス公演の第2回公演。県内ダンスチーム、高校ダンス部等が一堂に会し渾身のナンバーを披露。参加者 970名
- キ やまがた文化の回廊フェスティバル 2024 令和6年3月16日(土)～24日(日)
主催 やまがた文化の回廊フェスティバル 2024 実行委員会
内容 山形駅周辺エリア～霞城公園～七日町～十日町を結ぶエリアで山形の芸術文化の様々なイベントを開催 参加者 延べ 35,257名

③ 文翔館街なか賑わい推進事業等

ア イベントの受け入れ

- ・やまがた花笠食フェスタ 令和5年8月5日(土)～7日(月)
- ・山形県動物愛護フェスティバル 令和5年9月30日(土)
- ・やまがた秋の芸術祭 令和5年10月14日(土)
- ・街なか賑わいフェスティバル 令和5年10月14日(土)
- ・年末年始イルミネーション 令和5年11月17日(金)～令和6年1月10日(水)
- ・山形市旧暦初市 令和6年2月15日(木)～2月16日(金)
- ・城下町やまがた雛めぐり 令和6年2月17日(土)～3月10日(日)
- ・東日本大震災追悼復興祈念キャンドルナイト 令和6年3月11日(月)

④ 博物館としての展示等について

ア 文翔館収蔵品展「新・収蔵品展」

- ・期日 令和5年6月17日(土)～7月17日(月)
- ・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者 2,740名

イ 文翔館企画展「やまがたのおんな～信仰・習俗編～」

・期日 令和5年10月27日(金)～11月26日(日)

・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者4,371名

ウ 文翔館収蔵品展「文翔館復原の記録～旧県会議事堂編～」

・期日 令和6年2月24日(土)～3月24日(日)

・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者数2,308名

(2) 県民文化活動の場の提供

- ① 水彩画教室作品展 令和5年4月4日(火)～4月9日(日)
- ② 叙勲・褒章伝達式 令和5年5月9日(火)、11月7日(火)
- ③ 山形ジャズサミット in 文翔館 2023 令和5年5月13日(土)
- ④ 山形西高美術部展 令和5年5月26日(金)～5月28日(日)
- ⑤ 山形県立上山明新館高校邦楽部定期演奏会「響」 令和5年6月18日(日)
- ⑥ 山形県立東高校マンドリン部定期演奏会 令和5年6月25日(日)
- ⑦ シベリア抑留、満蒙開拓団に行った山形県民の記録 令和5年8月18日(金)～8月20日(日)
- ⑧ COSMOSの故郷は山形にありて石井抱旦獨展 令和5年10月3日(火)～10月9日(火)
- ⑨ YAMAGATA Youth Summit 2023 オープニングイベント 令和5年11月10日(金)
- ⑩ 斎藤茂吉文化賞・山形県産業賞贈呈式 令和5年11月11日(土)
- ⑪ やまがた伝統文化フェスティバル 令和5年11月26日(日)
- ⑫ 第71回県内高等学校建築設計デザインコンクール 令和6年2月9日(金)～2月12日(月)
- ⑬ 第30回山形県山形出身者新人演奏会オーディション 令和6年2月18日(日)
- ⑭ 第19回ガイドボランティア作品展 令和6年1月31日(水)～2月4日(日)
- ⑮ 東日本大震災からの復興写真パネル展 令和6年3月8日(金)～3月14日(木)

(3) 文化力の向上を目指す芸術文化事業の実施

- ① 文翔館芸術劇場
 - ア 真山隼人・沢村さくら 「浪曲の世界へようこそ in 文翔館」
令和5年11月11日(土) 14:00 入場者171名
 - イ ダーヴィッシュ 「ケルティック・クリスマス in 文翔館 Dervish」
令和5年11月29日(水) 18:30 入場者170名
 - ウ 仲道郁代 ピアノ・リサイタル
令和6年3月22日(金) 18:30 入場者191名
- ② 文翔館創作公演
 - ・ダンススペース「存在の考察～今を生きる～」
令和6年2月24日(土)、25日(日) 入場者226名
- ③ 芸術文化鑑賞普及事業
 - ア 山響ハートフルコンサート in あつみ
令和5年7月13日(木)
鶴岡市温海ふれあいセンター 入場者207名
 - イ 山響とみんなで創る音楽会 in いいで
令和6年2月4日(日)
飯豊町町民総合センター「あ～す」 入場者304名
 - ウ オペラっておもしろい！
モーツァルトの世界へようこそ

「コジ・ファン・トゥッテ～恋人たちの学校～」

令和 6 年 2 月 17 日（土）村山市民会館 入場者 405 名

(4) 県民文化活動の拠点施設としての機能強化

① 文化団体等連携支援事業の実施（6 団体）

支援団体等	助成金額（単位：千円）
公益財団法人 山形美術館	6,250
公益財団法人 致道博物館	625
公益財団法人 本間美術館	625
公益財団法人 齋藤茂吉記念館	375
公益社団法人 山形交響楽協会	10,000
山形県芸術文化協会（芸文美術館）	1,875
県民芸術祭実行委員会（負担金）	1,988
計 7 件	21,738

② アート・サポート事業

・応募件数 6 件 ・採択件数 6 件 ・助成実績 6 件 1,228,000 円

《助成団体》

- ・TENDO JONDANA FESTIVAL ‘23 天童ジャズフェスティバル実行委員会
令和 5 年 8 月 27 日（日）天童市わくわくランド野外ステージ 参加者 1,395 名
- ・東北芸術工科大学ルネサンス絵画研究会・山形市郷土館連携展覧会
東北芸術工科大学チュートリアルルネサンス絵画研究会 令和 5 年 10 月 23 日（月）～
11 月 30 日（木）山形市郷土館（旧済生館本館）参加者 8,599 名
- ・NMC コンサート vol.5 NMC Nord Musia Coro
令和 5 年 10 月 15 日（日）山形テルサ 大ホール 参加者 377 名
- ・「錦姫物語～Renewal～」 出羽庄内市民ミュージカル若手塾
令和 5 年 11 月 12 日（日）鶴岡市中央公民館 参加者 303 名
- ・朗読の会幻耶 第 26 回定期公演”朗読のひととき” 朗読の会幻耶
令和 5 年 11 月 18 日（土）山形市民会館 小ホール 参加者 218 名
- ・全力演劇企画公演「パラドックスジャーニー」 演劇プロジェクト全力演劇
令和 5 年 11 月 25 日（土）、26 日（日）山形市民会館小ホール 参加者 227 名

③ 文化活動支援事業

・応募件数 5 件 ・採択件数 5 件 ・交付済み 5 件 85,280 円

《助成団体及び個人》

- ・シベリア抑留、満蒙開拓団に行った山形県民の記録
澤田精之助を偲び平和の尊さを語りつぐ会
令和 5 年 8 月 18 日（金）～ 20 日（日） 参加者 552 名
- ・COSMOS の故郷は山形にありて ～石井抱旦獨展～
石井 抱旦
令和 5 年 10 月 3 日（火）～9 日（月） 参加者 1,500 名

- ・写真展 相内 一翼

令和5年11月2日(木)~5日(日)

参加者 350 名

- ・矢萩和幸作品展 一青と光の中へー 矢萩 和幸

令和6年2月13日(火)~18日(日)

参加者 300 名

- ・写真展「私の好きなもの」(きもの歳時記他) 布施木 洋子

令和6年3月28日(木)~31日(日)

参加者 237 名

《 収益目的事業 》

3 文翔館オリジナルグッズの製作・販売【収2】

(単位：円)

	年 間 売 上 額
令和5年度	502,000
令和4年度	257,800
令和3年度	134,400

4 文翔館ウェディングフォト活用(文翔館HP掲載事業者の広告掲載料【収2】)

(単位：円)

	年 間 売 上 額
令和5年度	310,000

4 郷土館建設経緯及び施設の概要

(1) 沿革

明治9年に現在の山形県が成立した後、初代県令三島通庸の手によって、明治10年に山形県庁舎が、また、明治16年に県会議事堂が旅籠町に建設されましたが、明治44年5月、山形市北大火により両棟とも焼失してしまいました。ただちに同地で両棟の復興が計画され、大正2年4月に着手、同5年6月に完成したものが、現在の旧県庁舎及び県会議事堂です。設計は、米沢市出身の中條精一郎を顧問として、東京都出身の田原新之助が担当し工事は山形県の直営で行われました。

旧県庁舎及び県会議事堂は、英国近世復興様式を基調とした建物で、両棟は渡り廊下で結ばれています。

旧県庁舎は、レンガ造り3階建で外廻りの壁面は花崗岩石貼りです。昭和50年まで県庁舎として使用されていました。

また、旧県会議事堂は、レンガ造り一部2階建で、当初から公会堂としての性格も併せ持って計画されました。このため、議場の議員席も固定席ではなく、講演会や演奏会等さまざまな催し物に使われていましたが、手狭であったため昭和5年に新議事堂が建設され、その後旧議事堂は事務室に改造されて使用されました。

昭和50年の県庁移転後は、両棟を文化財として保存することとなり、昭和59年12月には国の重要文化財に指定されました。その後、昭和61年から文化庁の補助を受けながら修理工事を進め、平成7年9月、10年にわたる工事が完成しました。

(2) 建造物の概要

① 建造物名称	山形県旧県庁舎及び県会議事堂														
② 指定年月日	昭和59年12月28日（文部省告示第147号）														
③ 指定内容	所在地 山形市旅籠町三丁目4番51号														
	構造 旧県庁舎 煉瓦造、建築面積 1,864.6 m²、3 階建、正面玄関ポーチ、東面昇降口付、スレート葺、正面中央搭屋付、鉄板葺（玄関、中央階段室、南棟及び東棟 3 階各室以外の内装を除く。） 附 棟札 2 枚 大正3年12月7日の記があるもの 人名その他の記があるもの 旧県会議事堂 煉瓦造、建築面積 866.4 m²、1 部 2 階建、スレート及び鉄板葺 附 渡廊下 1 棟 煉瓦及び木造、建築面積 48.2 m²、2 階建、棧瓦葺、工事関係記録 7 冊 <table border="1"> <tr> <td>大正2年度</td><td>県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>大正2年度</td><td>県庁舎・県会議事堂建築関係</td></tr> <tr> <td>大正3年度</td><td>県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺</td></tr> <tr> <td>大正4年度</td><td>県庁舎建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>大正5年度</td><td>県庁舎建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>自大正2年度至大正5年度</td><td>県庁舎県会議事堂建築工事関係</td></tr> <tr> <td>大正6年度</td><td>県庁舎庭園関係 設計図 9 枚</td></tr> </table>	大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺	大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築関係	大正3年度	県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺	大正4年度	県庁舎建築工事施行伺	大正5年度	県庁舎建築工事施行伺	自大正2年度至大正5年度	県庁舎県会議事堂建築工事関係	大正6年度	県庁舎庭園関係 設計図 9 枚
大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺														
大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築関係														
大正3年度	県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺														
大正4年度	県庁舎建築工事施行伺														
大正5年度	県庁舎建築工事施行伺														
自大正2年度至大正5年度	県庁舎県会議事堂建築工事関係														
大正6年度	県庁舎庭園関係 設計図 9 枚														
④ 建設時期	大正2年4月7日着工、大正5年6月15日落成														
⑤ 設計者	田原新之助（明治9年3月7日～大正5年8月29日） 東京府荏原郡品川出身。ジョサイヤ・コンドルの門弟として建築術を修業。 山形県工師として設計監督にあたる。他に自治講習所、山形電気社屋、山形東沢小学校等の設計監督をした。 設計顧問 中條精一郎 米沢出身 曾禰・中條建築事務所														

⑥ 創建時工事費	401,194 円（当時米 1 俵 1 円 20 銭程度） 山形県の直営工事として施工されたが、工事に携わった人々は、尾世川吉次郎など東京の業者が中心で、一部県内の業者が加わった。これは、当時これほどの洋風建築が県内になかったので、中央の技術を導入する必要があったからとされている。														
⑦ 建築様式	旧県庁舎は「英国近世復興様式」を基調として計画された煉瓦造 3 階建て、外観表面を石貼とし、正面を半地下式にして、2 階をグランドフロア風にみせ、中央には車寄を設けている。平面は口の字形で中庭をもち、正面中央は高く時計塔を設けている。屋根は天然スレート材、要所には円形のドーマーウィンドウを開けている。 内部は、主要な部屋が 3 階にあり、正庁、貴賓室、知事室、高等官食堂、内務部長室などを配している。 旧県会議事堂は、県庁舎の西に並び渡り廊下で接続している。煉瓦造一部 2 階建て、石階段、外壁腰部や柱形、軒及びパラペットを石造とした外観をもつ。 正面に議長室や執務室などを配した 2 階を設け、その背後に平屋の議事棟を接続させている。屋根はこれも天然スレート葺で、正面南棟には円形の、議場棟には角形のドーマーウィンドウを開けている。 この二つの建築は、『明治以来の様式建築の中でもその正統を継いだ手堅い作品で、その中に新しい意匠を取り入れはじめた大正初期の煉瓦造公共建築として数少ない遺構』とされている。														
⑧ 使用材料	落成式時の資料「山形懸廳舎・山形懸會議事堂建築工事一斑」によると、工事に使用した主な建築材料は以下のとおりです。 <table border="1"> <tr> <td>煉瓦</td><td>2,970,543 本（東京産）</td></tr> <tr> <td>花崗岩</td><td>40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）</td></tr> <tr> <td>木材</td><td>5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）</td></tr> <tr> <td>磐城セメント</td><td>5,353 樽</td></tr> <tr> <td>スレート</td><td>150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）</td></tr> <tr> <td>銅板</td><td>26,400 m² 尺</td></tr> <tr> <td>鉄鋼材</td><td>16,500 貫</td></tr> </table>	煉瓦	2,970,543 本（東京産）	花崗岩	40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）	木材	5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）	磐城セメント	5,353 樽	スレート	150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）	銅板	26,400 m ² 尺	鉄鋼材	16,500 貫
煉瓦	2,970,543 本（東京産）														
花崗岩	40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）														
木材	5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）														
磐城セメント	5,353 樽														
スレート	150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）														
銅板	26,400 m ² 尺														
鉄鋼材	16,500 貫														

(3) 修理工事の概要

工事は、建築当初の復原を目指して、あわせて必要な構造補強や活用のための新たな設備工事等を実施しました。事業は、設計監理を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託して、山形県の事業として行いました。修理工事の概要は次のとおりです。

- ① 解体範囲を最小限にとどめ、極力在来材料を使用しながら、従来の工法で施工して創建当時の姿の復原を目指しています。
- ② 構造補強のため、旧県庁舎では、小屋組の鉄骨水平トラスの架設や煉瓦壁頂部からの鉄筋の挿入などを行ったほか、旧議事堂では議場棟の東・西煉瓦壁の外壁に鉄骨造のバットレスを設けるなどの対策を講じています。施工にあたっては、できるだけ内装に影響を与えないように配慮しています。
- ③ 活用のために、新たに冷暖房設備、エレベーター、身障者用の便所を設置しました。
- ④ 「正庁」、「貴賓室」、「知事室」、「内務部長室」等の天井を漆喰飾天井に復原したほか、カーテン、壁紙、シャンデリア、絨毯など、できる限り復原を目指しました。
- ⑤ 床材では、日本では既に製造されていないリノリウムを使用して復原に努めています。（議場など）
- ⑥ 屋根は当時と同じスレート葺きとし、時計塔の銅板葺きなどを再現しました。
- ⑦ 議場では美しいヴォールト天井や正面出入り口上のバルコニーなどの意匠を復原しました。

(4) 施設の活用

山形県郷土館（文翔館）は、「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を貴重な文化遺産として保存公開するとともに、県民の郷土への理解を深め、また本県文化の振興を図るための施設として設置されました。

このため、郷土についての常設展示コーナー、映像ホールなど、新たな機能を備えた多目的な文化施設となっています。

また、ギャラリー、会議室、ホールとして利用できるスペースも設け、県民の文化活動のステージを提供しています。

常 設 展 示

コーナー名称	展示の具体的な内容
県政の歩み	歴代知事の紹介と三島通庸に関する資料の展示
街並探訪	旧県庁舎落成（大正5年）当時の街並の復原 県都山形市の都市の変遷をたどる資料の展示
復原の記録	重要文化財山形県旧県庁舎及び県会議事堂の修理復原工事にかかる記録、当時の建築部材の展示
記念碑の回廊	明治以降を5つの時代区分し、各時代の人々の暮らしが浮き彫りになるよう、風俗や流行など身近な話題にスポットをあてた展示 ① 明治維新～明治中期 ② 明治中期～大正 ③ 昭和戦前 ④ 昭和戦後～昭和35年 ⑤ ～現代
最上川は語る	最上川を軸として、県内4地域の風土、文化等を紹介する展示
やまがたの文学	山形ゆかりの著名な作家・文学者を紹介
県議会の歩み	歴代議長との紹介と議会の仕組み等の展示

施 設 の 概 要

貸室	定員	主な備品等	主な装置等	主な利用内容
第一会議室(3F)	24	3人用机、椅子、 白板	スライド映写機	研修会、趣味の会、 会議、各種会合等
第二会議室(3F)	24	3人用机、椅子、 白板		
ギャラリー1	小	展示台 展示ケース 展示用パネル ピクチャーハンガー セット 机 いす	プロジェクター 携帯用ビデオカ メラ モニターテレビ	絵画、書画、写真、 花等各種展示
ギャラリー2	中			
ギャラリー3	大			
ギャラリー4	中			
ギャラリー5	中			
ギャラリー6	大			
ギャラリー7	小			
ギャラリー8	中			
議場ホール	250	ピアノ、演壇、指 揮台、譜面台、テ ーブル、椅子	音響装置、照明 装置、反響板、 組ステージ	コンサート、リサイ タル、講演会等
中庭		机、椅子		コンサート、講演 会、各種展示等

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」の復原にかかる主な経過

1876	(明治 9)	・ 8	山形・置賜・鶴岡の 3 県を合併し、山形県とする
1877	(明治 10)	・ 11	初代県庁舎落成
1883	(明治 16)	・ 5	初代県会議事堂落成
1911	(明治 44)	・ 5	山形市北大火（県庁舎及び県会議事堂焼失）
1916	(大正 5)	・ 6	2 代県庁舎、県会議事堂落成
1930	(昭和 5)	・ 10	3 代県会議事堂落成
1973	(昭和 48)	・ 3	県庁舎跡地利用懇談会の設置（会長：副知事）
1975	(昭和 50)	・ 9	3 代県庁舎、4 代県議会議事堂開庁
1976	(昭和 51)	・ 6	県庁舎跡地利用懇談会で山形県歴史資料館（仮称）の設置を決定
1978	(昭和 53)	・ 3	旧県庁舎が県指定有形文化財に指定される
1979	(昭和 54)	・ 6	山形県歴史資料館設立委員会の設置（会長：副知事）
1980	(昭和 55)	・ 3	山形県歴史資料館設立委員会で計画決定 ① 名称は山形県郷土館が望ましい ② 展示計画として、 ア 専門的学術的なものより、子供から老人まで気軽に利用し、郷土を理解できるもの イ 山形県の過去をみつめ、未来の山形県を描くことができるもの ウ 実物、VTR、パネル、写真等を展示し、体験を通して興味と関心を高めるもの
1982	(昭和 57)	・ 9	山形県郷土館（仮称）基本構想検討委員会の設置
1983	(昭和 58)	・ 3	山形県郷土館（仮称）基本構想検討委員会が「山形県郷土館基本構想」を決定 ①名 称 山形県郷土館 ②基本テーマ やまがたの歩みを振り返り、明日の山形を考える ③展示計画 山形県の歩み、自然、風土、ひと、交通、産業、未来の山形 ④機 能 郷土、地域文化資料のネットワーク化、情報センター
1984	(昭和 59)	・ 12	旧県庁舎及び県会議事堂が国の重要文化財に指定される
1986	(昭和 61)	・ 7	旧県会議事堂の半解体調査開始
1987	(昭和 62)	・ 6	山形県郷土館展示専門委員会の設置
1987	(昭和 62)	・ 8	旧議事堂の現状変更許可（復原方針の決定）
1988	(昭和 63)	・ 2	旧県庁舎の半版解体調査開始
1990	(平成 2)	・ 4	旧県庁舎の現状変更許可（復原方針の決定）
1990	(平成 2)	・ 9	旧県会議事堂の修理工事完成
1993	(平成 5)	・ 9	山形県郷土館（仮称）展示基本設計
1994	(平成 6)	・ 2	山形県郷土館（仮称）展示実施設計
1994	(平成 6)	・ 6	山形県郷土館展示委員会の設置
1995	(平成 7)	・ 7	山形県郷土館条例公布
1995	(平成 7)	・ 9	山形県郷土館の愛称を「文翔館」に決定（同時にシンボルマークも決定） 旧県庁舎及び県会議事堂修理工事、展示工事完成
1995	(平成 7)	・ 10	山形県郷土館開館

V 男 女 共 同 参 画 部 門

(山形県男女共同参画センター「チェリア」)

V 男女共同参画部門

(山形県男女共同参画センター「チェリア」)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023) 629-7751

(023) 629-8007※相談専用

F A X (023) 629-7752

1 概 要

(1) 設置目的

男女共同参画社会の形成の促進に関する活動を総合的に支援する。

(2) 基本的機能と役割

男女が性別にかかわらず個人として尊重され、自らの意思と選択によってのびやかに生きることができる社会、また、男女が力を合わせて地域の未来を創り出していく社会づくりをめざし、男女共同参画に関する県民の意識の啓発や県民の自主的な取り組みについての支援等の拠点としての役割を担う。

(3) 運営の基本方針

- ① 男女共同参画の推進拠点として、世代・性別を超えて多様な人々が利用しやすい施設となるよう努める。
- ② 男女共同参画の実践の取り組みを拡大するため、情報の受発信基地としての機能の拡充や、女性団体等とのネットワークづくり等により、拠点施設としての機能を強化する。
- ③ 女性が様々な分野にチャレンジすることを積極的に支援するとともに、各地域において男女共同参画の実践を先導できる女性リーダーを養成する。

(4) 主な事業項目

- ① 県民の男女共同参画に関する意識改革
- ② 地域における身近な男女共同参画の推進
- ③ ワークライフバランス及び女性の活躍推進
- ④ 男女共同参画に関する相談・支援
- ⑤ その他男女共同参画に関する業務

2 令和6年度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公3：男女共同参画の推進に関する事業

(1) 県民の男女共同参画に関する意識改革

① 学習・研修・普及啓発事業

ア 県民企画事業

団体・グループなどが自ら企画、実施する各種講座、調査研究等の優れた企画に対して助成し、県民参加の拡大と男女共同参画の普及を図る。

イ 男女共同参画週間記念事業

6月23日～29日の記念週間に、男女共同参画社会づくりを進めるための啓発事業を県・市町村、女性団体等と協力して各地域で実施する。

ウ 中学・高校教育男女共同参画学習推進事業

中学生を対象に、男女共同参画について考えるためのリーフレットを作成し配布する。

エ DV防止普及啓発事業

DV防止の意識啓発のため、パネル展示、パープルリボンの配布及びDV防止講座の開催等を行う。

② 情報収集・提供事業

ア 学習支援図書等整備事業

男女共同参画に関する図書やDVD等の充実を図る。また県内外の男女共同参画センター、活動団体・機関等の資料について積極的に収集し、県民に提供する。

イ 広報誌「チェリア」の発行

男女共同参画センターの事業や男女共同参画に関する話題を周知するため、チェリア広報委員の協力を得ながら、広報誌「チェリア」を発行する。

ウ ラジオ広報事業

ラジオを活用して、男女共同参画の普及啓発を行う。

エ ホームページによる情報提供

ホームページにより事業等についての広報や男女共同参画関連の情報提供を行うとともに、女性の活躍状況をチャレンジモデル事例として掲載し、女性のチャレンジ支援の一層の充実を図る。

(2) 地域における身近な男女共同参画の推進

① 地域連携強化事業

ア 男女共同参画連携会議

県内の各市町村・総合支庁と連携を図りながら、地域での男女共同参画の取組みの拡大と各種施策・事業の効果的な展開を県とともに図る。

イ 地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業

県内4ブロックに形成された男女共同参画地域ネットワークの自立的活動の活性化を図るため、研修会やイベントへの支援を行い、新たな参加者の拡大を図る。

ウ 男女共同参画地域講座開催支援事業

市町村を中心とする各種団体等で構成する実行委員会主催の各種講座開催や男女共同参画の計画策定のための連続した講座等に対し支援する。

② 団体活動支援・交流事業

ア 団体・グループ活動活性化事業

団体・グループ等が実施する男女共同参画に関する研修等に対して支援するとともに、会報等の作成のために印刷室を提供するなどして活動の活性化を図る。

イ 男女共同参画フェスティバル（チェリアフェスティバル）の開催

男女共同参画を進めているチェリア登録団体・グループの活動発表や、講演会等団体の活動の活性化と県民との交流の推進を図る。

ウ 全国大会の開催

特定非営利活動法人全国女性会館協議会（東京都）が主催する第 68 回全国大会が本県で開催されることから、男女共同参画フェスティバル（チェリアフェスティバル）と併催で開催する。

(3) ワークライフバランス及び女性の活躍推進

① 女性の人材育成事業

企業や地域における女性の活躍推進の人材発掘・育成の拠点として、男女共同参画を推進する女性リーダーの育成を図るとともに、育成した人材のネットワーク化に取り組む。

ア 「チェリア塾」の開催

男女共同参画の基礎的知識を学ぶ基本コース、基本コース修了者を対象に実践力を習得する実践コース、修了生の講師としての実践活用を図るための専門コースを開講する。

イ 「やまがた女性キャリアアップセミナー」の開催

企業で働く女性を対象に、職場で活躍するために必要な様々な能力を養成する講座を開講する。

ウ 「やまがた緑塾」の開催

ジェンダーに関する様々な事項に関心を持ち、正しい知識を習得し、社会現象の要因にジェンダーが関わっていないかを検討する力を養うと共に、身近な問題を解決する力を養う講座を開講する。

② 男性の意識啓発事業

ア 男性セミナーの開催

男性の家事・育児・介護等への参画を促進するため、男性を対象とした男女共同参画セミナーを県内各地域で開催する。

(4) 男女共同参画に関する相談・支援

① 相談事業

ア 相談業務

相談員による一般相談（電話・面接）、男性相談員による男性専用の電話相談、弁護士、臨床心理士による専門相談（法律相談、こころの相談）を実施する。

イ 相談機関研修会の開催

相談機関の初任者・実務者を対象とした研修会を開催する。

(5) その他男女共同参画に関する業務

① 調査・研究事業

県内の団体・グループ等が行う男女共同参画に関する調査・研究活動の支援、指導助言を行う。

② 管理運営事業

ア 団体・グループ活動室、託児室の利用促進

県民の男女共同参画活動の場として提供するため、適正な施設管理を行う。

イ 男女共同参画センター企画運営委員会の運営

県民の利用しやすい施設運営を目指して、事業計画や運営について協議を行う。また、センターで開催する塾・セミナー等でのアンケートを活用し事業の企画等に活かす。

ウ 県多様性・女性若者活躍課との連絡調整

県多様性・女性若者活躍課と定期的な報告協議を行い連絡調整を図る。

3 令和5年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 男女共同参画社会の形成促進の支援に関する事業【公3】

(1) 県民の男女共同参画に関する意識改革

① 学習・研修・普及啓発事業

ア 県民企画事業

団体・グループ等が自ら企画・実施する各種講座、調査研究等の優れた企画に対して助成し、県民参加の拡大と男女共同参画の普及を図る。

a 事業名：世界に一つだけの花を咲かそう！

団体名：フラワーキッズ・日本伝統文化おもしろ子ども教室

内 容：いけばな教室を開催し、いけばなの精神を伝えるなかで男女共同参画に係る話をわかりやすく盛り込み紹介するとともに、多くの人に見てもらえるよう校内展示を行った。

開催日：令和5年6月21日（水）～12月1日（金）の間 13日間

場 所：村山地域の保育園、小学校、中学校等 14 か所

参加者：328 人

b 事業名：「フェミニズムと言わないフェミニズム入門」コンテンツガイド作成・発行事業

団体名：Sisterhood（シスターフッド）

内 容：ジェンダー平等の実現を目指すため、若い世代を対象に、小説や漫画等から気軽にジェンダー学につながるようなコンテンツガイドの制作、フリーペーパーの作成（2,000部）、社会教育施設等に設置し若い世代等に頒布した。

c 事業名：『繋がる・頼れる・山形ママ図鑑』

団体名：山形ママコミュニティmama＊jam

内 容：関係希薄になりつつある子育て世代に

新たな情報を提供するため、子育て中の母親等を対象に、県内で活躍する母親等を紹介する冊子「繋がる・頼れる・山形ママ図鑑」を作成（1,000部）、市町村等に設置し希望者に頒布した。

イ 男女共同参画週間記念事業（令和5年6月23日（金）～29日（木））

a ラジオキャンペーン

- ・山形放送 令和5年度男女共同参画週間 ラジオカー・スタジオキャンペーン
- ・ラジオモンスター 令和5年度男女共同参画週間 CMスポットキャンペーン

b 男女共同参画週間パネル展示（遊学館2階ギャラリー）

- ・期日：令和5年6月23日（金）～30日（金）

c 県、市町村におけるパネル展示（センターから貸出を受けた市町村）

場所：県庁、上山市、村山市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、朝日町、米沢市、南陽市、川西町、酒田市

d 図書館との連携展示(男女共同参画に関する図書展示、ポスター展示：図書館1階)

・期日：令和5年6月21日（水）～30日（金）

ウ 中学・高校教育男女共同参画学習推進事業

- a 中学生の男女共同参画に関する意識醸成のため、「男女共同参画学習パンフレット」を配布した。（11,000部）
- b 県立寒河江高校の探究学習での「ジェンダー問題」に関する質問について説明等を行った。

エ DV防止普及啓発事業

（令和5年11月12日（金）～25日（土）女性に対する暴力をなくす運動）

a DV防止講座の開催

テーマ：「DVと児童虐待 ～警察官の視点から～」

開催日：令和5年11月17日（日） 会場：遊学館 受講者数 28名

講師：渡邊信八氏（山形県警察本部生活安全部人身安全少年課人身安全関連事案対策担当課長補佐）

b ラジオキャンペーン

ラジオモンスター 令和5年度DV防止普及啓発週間CMスポットキャンペーン

c 県、市町村におけるパネル展示（センターから貸出を受けた市町村）

場所：遊学館、県庁、米沢市、酒田市、天童市、南陽市、中山町

d ポスターの掲示、パープルリボンの着用 ・配布：県、各市町村

e パープルライトアップ（文翔館、寒河江市役所、上山城、旧米沢高等工業学校本館、荘内タクト鶴岡、日和山公園六角灯台、高畠町文化ホール「まほら」周辺、川西町役場）

② 情報収集・提供事業

ア 学習支援図書等整備事業

男女共同参画に関する図書・ビデオ・パネル・資料等の収集と情報検索用パソコンを配置し、閲覧及び貸し出しを通して県民の学習への支援を行った。

・所蔵状況 図書 4,115冊 ビデオ・DVD 379本

・貸出状況 図書 60冊 ビデオ・DVD 10本

イ 広報誌「チェリア」の発行

・年3回発行（9月、12月、3月） ・発行部数各6,000部

ウ ラジオ広報事業

・山形放送 令和5年度男女共同参画週間 ラジオカー・スタジオキャンペーン【再掲】

・ラジオモンスター 令和5年度男女共同参画週間 CMスポットキャンペーン【再掲】

エ ホームページによる情報提供

(2) 地域における身近な男女共同参画の推進

① 地域連携強化事業

ア 男女共同参画連携会議の開催

県内4ブロックごとに、県・各市町村・市町の男女共同参画施設・県男女共同参画推進員等で構成する男女共同参画連携会議の開催を、全県一斉のオンライン会議により開

催。総合支庁単位でのグループ情報・意見交換等も行うなど、地域での男女共同参画の取組みの拡大と各種施策・事業の効果的な展開を図った。

開催日：令和5年4月27日（木） 出席者：57名

イ 地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業

a 村山地域

- ・事業名：講演会「みんなで考えよう～性の多様性」

団体名：刺し子クラブみどり、ちえりっぼ（女性＝健康 Yamagata）

開催日：令和5年8月26日（土） 会場：遊学館 参加者数：20名

講師：金子尚仁氏（天童市民病院産婦人科医長）

- ・事業名：「やまがたママ図鑑」発行報告会&第1回交流会

団体名：山形ママコミュニティ m a m a * j a m

開催日：令和6年2月27日（火） 会場：遊学館 参加者数：43名

b 庄内地域

- ・事業名：講演会「誰もが知っておきたい性と生殖に関する健康と権利」

団体名：庄内ちえりあ

開催日：令和5年8月11日（金） 会場：酒田市総合文化センター

講師：福田和子氏（＃なんでないのプロジェクト主宰） 参加者数：22名

- ・事業名：私とあなたの心を大切にする一日 生理用品の【今】を知って触って作ってみよう

団体名：庄内ウィメンズパーク みんなの保健室（プチ）

開催日：令和6年3月2日（土） 会場：鶴岡協同の家コピア

内容：生理用品の今を知る・学ぶ・語る・触れて作る体験等 参加者数：34名

- ・事業名：著者井東敬子さんと一緒に本を読んで対話するABD読書会

団体名：～MOGAMI なりわひ～芽から樹

開催日：令和6年3月20日（水） 会場：酒田駅前交流拠点施設ミライニ

参加者数：11名

講師：井東敬子氏（鶴岡ナリワイプロジェクト代表）

阿部和恵氏（アクティブ・ブック・ダイアログ®認定ファシリテーター）

ウ 男女共同参画地域講座開催支援事業

置賜地域講座：米沢市

開催日：令和5年10月1日（日）

会場：米沢市 山形県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学食堂（カフェテリア）

参加者数：120名

講座名：「米沢100人女子会」

第一部 「堀井アナによるコミュニケーションのお悩み相談室」

第二部 「テーマ別フリートーク」

エ 山形県男女共同参画推進員出前講座 派遣件数 10件

（依頼先：酒田人権擁護委員協議会、舟形町男女共同参画社会推進委員会、中山町女性団体連絡協議会、山辺町、尾花沢市、白鷹町保育協議会、浄土宗児童教化連盟、尾花沢中学校同窓会、川西町）

② 団体活動支援・交流事業

ア 団体・グループ活動活性化事業

a チェリア登録団体ネットワーク会議の開催

開催日：令和6年1月13日（土）

内 容：チェリアフェスティバル山形 2024 についての協議等

b 男女共同参画学習会等支援事業助成金

団体が実施する講演会等の講師派遣経費に対する助成 3 団体

c 印刷室の運営等

イ 男女共同参画フェスティバル(チェリアフェスティバル山形 2023)の開催（遊学館）

山形県内で活動する団体・グループの活動発表と県民との交流を通じ、男女共同参画社会づくりに関する理解の促進と気運の醸成を図る。

a 実行委員会の開催：第1回:令和5年4月22日(土)、第2回:令和5年5月27日(土)

第3回:令和5年8月26日(土)、第4回:令和5年11月11日(土)

b 開催内容

令和5年10月7日(土)～8日(日)（一部展示は10月14日(土)まで）

参加延人数：1,199 名

・講演会：「男の子にも女の子にも聞いてほしいジェンダーの話」

講師：坂無 淳氏（福岡県立大学人間社会学部准教授）

・オープニングセレモニー（ダンススペース jr 等 3 団体による合同ダンス演奏）

・ワークショップ（16 団体）、県民交流コーナー（7 団体）、展示発表（9 団体）

(3) ワークライフバランス及び女性の活躍推進

① 女性の人材育成事業

ア 「チェリア塾」の開催

a 基本コース（置賜地域）

男女共同参画に関する基本的な知識と考え方の習得並びに受講生同士のネットワーク形成を目的に、置賜地域を会場に開催した。

・第1回 令和5年6月24日（土） 会場：米沢市すこやかセンター 受講者数：8 名

「このモヤモヤはどこから ～ジェンダーと人権～」

講師：伊藤真知子氏（山形県男女共同参画センター館長）

ファシリテーター

五十嵐由美子氏(チェリア塾7期生)

吉原ゆみ子氏(チェリア塾6期生)

・第2回 令和5年7月22日（土） 会場：米沢市すこやかセンター 受講者数：7 名

「キャリアデザイン～自分にできること・したいこと・やらなければならないこと～」

講師：尾形恵子氏（有限会社ティップス取締役社長）

ファシリテーター

五十嵐由美子氏(チェリア塾7期生) 井上恭子氏（チェリア塾6期生）

吉原ゆみ子氏(チェリア塾6期生)

- ・第3回 令和5年8月26日(土) 会場:置賜総合文化センター 受講者数:7名
「自分を生きる航海術」

講師:渋谷聡子氏(合同会社ファミリーコンパス代表)

ファシリテーター

五十嵐由美子氏(チェリア塾7期生) 井上恭子氏(チェリア塾6期生)

吉原ゆみ子氏(チェリア塾6期生)

- ・第4回 令和5年9月23日(土) 会場:米沢市すこやかセンター 受講者数:5名
「地域の実践者から学ぶ」

事例発表者:山田茂義氏(スタジオ八百萬代表)

夢プロジェクト『竹あかり×ゆき×祈り』実行委員会

「デザインシンキング ～課題の考え方、取り組み方を身に付けよう～」

講師:青木孝弘氏(宮城大学事業構想学群准教授)

ファシリテーター

五十嵐由美子氏(チェリア塾7期生) 井上恭子氏(チェリア塾6期生)

- ・第5回 令和5年10月28日(土) 会場:米沢市すこやかセンター 受講者数:6名
「今日はゴールをスタートに変える日～ふりかえりと次のステップへの踏み出し～」

講師:廣瀬隆人氏(一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事)

ファシリテーター

五十嵐由美子氏(チェリア塾7期生) 井上恭子氏(チェリア塾6期生)

吉原ゆみ子氏(チェリア塾6期生)

b 実践コース(庄内地域)

昨年度の基本コース修了生を対象に、実践的な力量を形成し、事業を進める自信とネットワークを深めるために、昨年度基本コースを開催した庄内地域で開催した。

- ・対象者:前年度基本コース(庄内地域)の修了生

- ・第1回 令和5年5月13日(土) 会場:三川町公民館 受講者数:7名

「基本コースをふりかえる」「実践コースの概要を理解する」

講師:廣瀬隆人氏(一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事)

ファシリテーター:庄内ちえりあ

阿部まゆみ氏(チェリア塾4期生) 後藤麻子氏(チェリア塾5期生)

坂本静香氏(チェリア塾3期生) 佐藤あゆみ氏(チェリア塾4期生)

安田綾子氏(チェリア塾4期生)

- ・第2回 令和5年6月10日(土)・会場:三川町公民館・受講者数:9名

「前回からのふりかえり」「事業のテーマ・大枠を決める」

講師:庄内ちえりあ

阿部まゆみ氏(チェリア塾4期生) 坂本静香氏(チェリア塾3期生)

佐藤あゆみ氏(チェリア塾4期生) 安田綾子氏(チェリア塾4期生)

- ・第3回 令和5年7月8日(土)・会場:三川町公民館・受講者数:7名

「前回のふりかえり」「事業企画を深める」

講師：庄内ちえりあ

阿部まゆみ氏(チェリア塾4期生)

坂本静香氏(チェリア塾3期生)

佐藤あゆみ氏(チェリア塾4期生)

安田綾子氏(チェリア塾4期生)

- ・自主企画講座 令和5年10月29日(日)

「みんなの保健室」(じょさね体操、よねさんの紙芝居、ワークショップ)

参加者 70 名 講座支援 庄内ちえりあ

- ・第4回 令和5年11月25日(土)・会場：三川町公民館・受講者数:8名

「自主企画講座等をふりかえる」

講師：廣瀬隆人氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事)

阿部まゆみ氏(チェリア塾4期生) 坂本静香氏(チェリア塾3期生)

佐藤あゆみ氏(チェリア塾4期生)

c 専門コース

チェリア塾修了生及び山形県男女共同参画推進員を対象に、出前講座等の講師としての実践活用を図るための技法の習得を目的として開催した。

- ・テーマ：男女共同参画ワークショップ技法の習得(実践編)

- ・会 場：遊学館 受講者数：5名

- ・第1回 令和5年11月4日(土)

講師：有川富二子氏(チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員)

石澤多貴子氏(チェリア塾3期生・県男女共同参画推進員)

沼野 慈氏(県男女共同参画推進員)

村山恵美子氏(チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員)

- ・第2回 令和5年12月3日(日)

講師：有川富二子氏、石澤多貴子氏、

沼野 慈氏、村山恵美子氏

アドバイザー：齋藤由美子氏(東北文教大学短期大学部 特任准教授)

- ・第3回 令和6年1月14日(日)

講師：有川富二子氏、石澤多貴子氏、沼野 慈氏、村山恵美子氏

オブザーバー：齋藤由美子氏(東北文教大学短期大学部 特任准教授)

イ 「チェリア塾ネットワーク会議」の開催 参加者 15 名(会場 10 名 オンライン 5 名)

開催日：令和5年7月1日(土) 場所：遊学館

内 容：令和5年度のネットワーク関連活動等について意見交換

ウ 「やまがた女性キャリアアップセミナー」の開催

企業で働く女性を対象に、職場で活躍するためにキャリア開発に必要なビジネススキルを学ぶ講座を開催した。

- ・第1回 令和5年10月19日(木)

講師：安達隆司氏(ヒューマンアプローチ研究会 代表幹事)

会場：遊学館 受講者数：20名

・第2回 令和5年11月9日(木)

講師：安達隆司氏(ヒューマンアプローチ研究会 代表幹事)

会場：遊学館 受講者数：23名

エ 「やまがた緑塾」の開催

ジェンダーに関する様々な事項に関心を持ち、正しい知識を習得し、社会現象の要因にジェンダーが関わっていないかを検討する力を養うと共に、身近な問題を解決する力を養う講座。

・第1回 令和5年7月1日(土)

「学校をジェンダーの視点でみる」

講師：伊藤真知子氏(山形県男女共同参画センター館長)

会場：遊学館 学習室

受講者数：44名(会場21名 オンライン23名)

・第2回 令和5年8月5日(土)

「男らしさとジェンダー」

講師：坂本静香氏(東北公益文科大学非常勤講師)

会場：遊学館 学習室

受講者数：46名(会場21名 オンライン25名)

・第3回 令和5年9月2日(土)

「男性の〈生きづらさ〉を考えるー社会学の観点から」

講師：滝口克典氏(女性応援NPO「Sisterhood(シスターフッド)」事務局長)

会場：遊学館 学習室

受講者数：40名(会場15名 オンライン25名)

・第4回 令和5年11月11日(土)

「結婚とパートナーシップ制度～家族になるということ～」

講師：伊藤真知子氏(山形県男女共同参画センター館長)

会場：遊学館 学習室

受講者数：53名(会場28名 オンライン25名)

・特別編 令和6年2月18日(日) 山形市男女共同参画センターとの共催

「アンコンシャス・バイアスについて考えよう～思い込みに気づき、自分らしく生きる～」

講師：伊藤真知子氏(山形県男女共同参画センター館長)

会場：山形市男女共同参画センター「ファーラ」視聴覚室

受講者数：34名(会場23名 オンライン11名)

② 男性の意識啓発事業

ア 男性セミナーの開催

男性の男女共同参画に関する意識啓発のためのセミナーを開催した。

・第1回 令和5年12月17日(日) 置賜地域

「ボードゲームでEnjoyChristmas」

会場：置賜総合文化センター 参加者：9名

講師：小野卓也氏(やまがたボードゲーム協会会長)

チェリア塾ネットワーク置賜：五十嵐由美子氏、井上恭子氏、吉原ゆみ子氏
・第2回 令和6年1月27日(土) 庄内地域

「人生を楽しむヒントとおいしいコーヒーの淹れ方」

I 部 講話「22 世紀のローカリズム」

II 部 講座「おいしいコーヒーの淹れ方」

会場：酒田市交流ひろば 参加者：15 名

講師：I 部 シヤドウ國本氏（米農家／ラジオパーソナリティ）

II 部 赤塚宏之氏（東北萬国社業務部コーヒー課課長）

(4) 男女共同参画に関する相談・支援

① 相談事業

ア 相談業務

(単位：人)

種 類	5 年度	4 年度	3 年度
一般相談	893	1,098	832
うち男性相談	63	77	53
法律相談	41	50	47
こころの相談	119	111	94

イ 相談機関実務者研修会の開催【対象者：市町村等相談所関係職員】

a 相談機関初任者研修会

テーマ：「相談対応の基礎と支援について」

開催日：令和5年5月24日(水)

会 場：遊学館 受講者数 35 名

講 師：伊藤洋子氏（山形県公認心理師・臨床心理士協会 会長）

b 相談機関実務者研修会

テーマ：「生きづらさを抱える人の相談の受け方 一人で支えないための対応の工夫」

開催日：令和5年10月25日(水)

会 場：遊学館 受講者数：59 名

講 師：安保寛明氏（山形県立保健医療大学大学院・保健医療学研究科教授）

6 やまがた女性のつながりサポート事業【公3】（山形県委託事業）

(1) 相談機能の強化

新型コロナの影響により、孤独・孤立や様々な不安・悩みを抱える女性のためのオンライン相談を開設した。

「女性のためのこころの相談(オンライン)」(相談予約枠2人/日)

開設：令和5年5月～令和6年3月(原則第1・3土曜日14:00～16:00)

実績：24人 (令和5年5月～令和6年23月)

